

# 清掃部

創刊号

発行日:平成13年11月22日

発行:市川市清掃部

リサイクル推進課

☎(334)1111



## じゅんかんニュース

### 「じゅんかんパートナー」の活動始まる!

市内を走るごみの収集車は、1日に約100台。雨の日も、風の日もごみステーションを目指します。そして家庭のごみを集め続けます。グルグルとグルグルと・・・

ごみ問題は、家庭とつながっています。ごみを減らすにも、リサイクルするにも家庭や地域の協力が必要です。

そこで、千葉県内では始めて、全国でもあまり例のない公募市民による「じゅんかんパートナー制度」を設置しました。

市と市民がごみ問題を一緒に考え、一緒に行動して、資源が「じゅんかん」する社会をゆっくりと、じっくりと育てます。



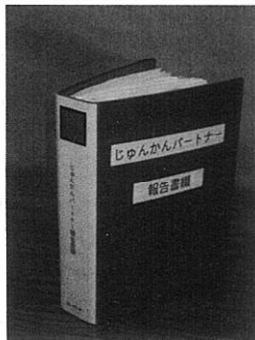
委嘱状交付式

じゅんかんパートナーは、市内14地区で81名います。その連絡会ではごみに関するさまざまな仕組みや清掃事業について、研修や施設見学を行なっています。

そして、地域のリーダーとして、新しい分別法や不法投棄防止などの啓発や指導を市や地元自治会と協力して取り組んでいます。



### ～じゅんかんパートナーの活動報告～



報告書の綴り

#### (国分地区・坪内 容子パートナー)

自治会の中に古くからのスーパーがあります。

このお店に、市のモデル事業で行なわれている「買い物袋持参運動」の話をしたところ、深い関心を示してもらい、うれしくなりました。

現在、お店では、オリジナルのステッカーを掲示して、地域の人に買い物袋持参の奨励を呼び掛け、ごみの減量に努めています。また、市に相談したところ平成3年から実施している「ごみ減量化・資源化協力店」制度に申し込むことで、協力店の

認定証とステッカーが頂けるとのことでしたので、早速、お店に話をしたところ、なんと申し込みをして頂けることになりました。今後は、より多くのお店に協力頂けるようさまざまな活動をしていきたいと思ひます。

# “じゅんかんプロジェクト進行中”

**清掃部では、ごみ問題を考え、資源循環型社会を築くための  
一般廃棄物処理基本計画づくりに取り組んでいます。**

ごみの減量やリサイクルを進め、環境にやさしいまち、資源が循環し続けるまちは、市民の積極的な参加がなければ実現しません。

そこで、行政内部だけではなく、市民から公募した「じゅんかんパートナー」の中から、これからの市川市を背負って立つ10代、20代の市民から60代の男性まで、幅広く選任し、行政や専門家も交えた「じゅんかんプロジェクト会議」をつくりました。

この会議は、ごみや生活排水の処理についての基本計画をつくるため、市と市民が



共に考える場となるもので、今年の12月までに合計8回程度の会議を予定しています。



議論白熱！  
「じゅんかんプロジェクト会議」

プロジェクトでは、最終処分場や産業廃棄物処分場を見学したほか、メンバー有志がごみの30分別を行なっている愛知県碧南市や市民参加の盛んな日進市におもむき、ごみ問題の先進都市を日帰視察という超ハードな日程もこなしています。

スケジュールも後半に入り、循環型社会の構築に向けて市民ができること、やるべきことは何か、分別が細分化されたときを想定して課題・問題点は何かなど論点を絞りつつ、市民意見を基本計画に反映するための取組を行なっていく予定です。

## じゅんかんプロジェクトのメンバー紹介

市民(新井)	福本 麻衣 (大学生)	市民(大和田)	大場 敏夫 (自営業)
〃(大野町)	戸田 邦彦 (大学生)	〃(東大和田)	佐久間 盛康 (介護員)
〃(平田)	松下 ルリ香 (会社員)	事業者	内浦 浄信 (JC)
〃(南八幡)	岡村 りら (大学院生)	専門家	大久保 貞利 (座長)
〃(南行徳)	小関 加夜 (大学生)	専門家	高津 政允 (副座長)
〃(妙典)	園部 栄子 (パート)	専門家	山田 泰司 (コンサル)
〃(曾谷)	宍戸 有美 (主婦)	行政	加藤 正 (リサイクル推進課)
〃(菅野)	小野 恒 (会社員)	以上15名 (敬称略)	

# レジ袋はいりません マイバッグでお買い物

## 大野中央商店会、東行徳商店会(モデル地区)で、 買い物袋持参運動が10月1日にスタートしました。

買い物の際、当たり前のように受け取ってしまうレジ袋ですが、便利な反面あまり大事にされません。風に舞い道路を泳ぐレジ袋をあなたも見たことがありますか？

平成12年度に市川市内で消費されたレジ袋は約1000トンにのぼります。このレジ袋(ごみ)を少しでも減らすため、買い物袋持参運動が始まりました。

自治会にはモニターの推薦を、商店会には参加店の募集をお願いして、レジ袋を受けとらないモニターが提示したエコカードに参加店が押印するシステム(下記フロー図参照)になっています。

この運動でモニター(約1000人)が減量するレジ袋はおよそ10万枚になります。

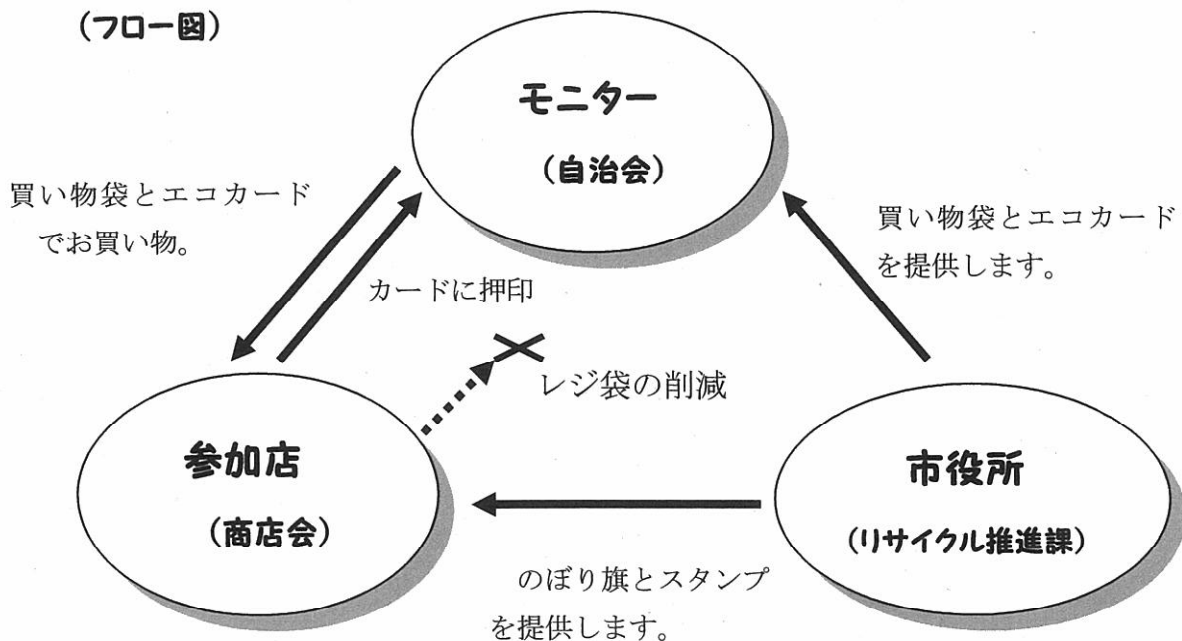
また、来年度はモデル地区での取り組み状況を見て全市に拡大する予定です。



  
**買い物袋持参運動**  
 マイバッグ協力店  
 市川市

「のぼり旗」

(フロー図)



\*エコカードが一杯(20個押印)になりましたら、参加店の中の「指定ごみ袋交換店」で市指定ごみ袋と交換します。

# ～市川市みどりのリサイクルプラン～



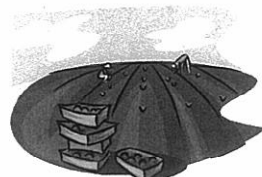
「生ごみ」

と



「せん定枝」

で



「堆肥」

をつくります。

「食」。人が暮らしていく中で、欠くことのできない毎日のリズム。

ここからは必ず生ごみが生まれます。買いすぎや作りすぎに注意してもゼロにはなりません。

この生ごみと、街路樹等のせん定枝をごみとしてではなく資源として再利用するために、清掃部では関係各課と「生ごみプロジェクト」を、また、農家・農業改良普及センター・農協と「堆肥利用促進協議会」を設置して検討してきました。

既に、生ごみ処理機を設置している、本庁食堂・南新浜小学校・第2中の給食等の生ごみを使用して醗酵物をつくり、クリーンセンターでチップ化したせん定枝と混合し試験堆肥をつくりました。これを、農家で実際に使用して頂いたところ堆肥の品質に好評を得たことから、今後の需要量等も考慮した上で、堆肥製造事業化に向けて準備を進めています。



試験堆肥

来年度は、小中学校・保育園を対象に生ごみ処理機を数機設置して、本庁食堂・市営住宅(今年度に設置予定)の生ごみとともに堆肥化を進め、市内農家に安価で提供する予定です。

また、今後は、公共施設が見本を示して、食品ごみの再生利用を事業所・家庭に広めてゆきます。

「にんじんの、へたで畑がよみがえる！」

## < じゅんかんニュース発行に当たり >



“じゅんかん”って、何のことかわかりますか？

広辞苑を引くと、“めぐりめぐって、また元にかえり、それを繰り返すこと”とあります。自然の仕組みは、まさしくこのじゅんかん型です。

いま、地球温暖化やダイオキシン問題などの深刻化する環境問題を解決するために、この、終わりのない“じゅんかん型の仕組み”が求められています。私たちは、将来の世代の人たちへの責任として、大量にエネルギーを使い、大量にごみを出す今の暮らし、ライフスタイルを日常的に少しずつ変えていかなければなりません。

そこで、市川市を循環型のまちとしていこうと、市では市民の方々と一緒に様々な取り組みを進めています。この取り組みをより多くの方々にお知らせしたいと発行したのが、このじゅんかんニュースです。このニュースをより多くの方々にご覧いただき、たくさんのご意見・ご感想をいただきながら、皆さんと一緒に、“今を”生きる私たちの責任を果たしていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。 **リサイクル推進課長 加藤 正**



環境清掃部

## じゅんかんニュース

第2号

発行日:平成15年2月10日

発行:市川市環境清掃部

リサイクル推進課

☎(334)1111

## 「ごみの12分別」が始まりました！

市川市には、ごみを最終的に処分するための埋立場がありません。銚子市内の民間処分場をお願いしています。にもかかわらず、ごみの量は年々少しずつ増えていきます。もし、銚子市への持込を断られたら市川のまちはごみであふれてしまいます。

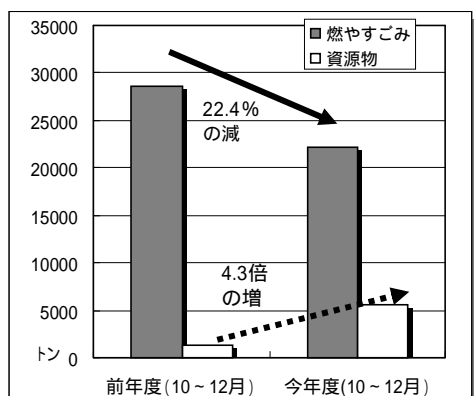
東京都日野市では、この問題に対処するため、ごみ処理の有料化(40リットル袋1枚80円)に踏み切ったところ、ごみの量が半分に減ったと報告しています。

市川市では、資源循環型のまちをめざして、ごみが資源として循環し、燃やすごみが減って焼却しないですむような仕組みづくりから始めました。

そこで、昨年10月から、今まで燃やすごみとして集めていたものの中から新聞、雑誌、ダンボール、紙パックの4種の紙類と、布



類、プラスチック製容器包装類の計6種類をごみとしないで新たに資源として集める12分別収集を開始しました。これは、燃やすごみの量を減らし、資源化率を高め、資源循環型のまちづくりを進めようとするもので、実施から早くも4ヵ月たち、下記のように、市民の皆さんの積極的な取組により順調にその成果が出てきています。



## ～燃やすごみが減っています～

12分別収集を開始して、10月から12月までの3ヵ月間の状況を見てみました。

燃やすごみ全体では、前年の約28,600トが6,400ト減って約22,200トとなりました(22.4%減)。逆に、資源物は約1,300トから約5,600トへと4.3倍の量となっています。

燃やすごみの中身を見てみますと、新聞と容器包装プラは2～3割の減ですが、ダンボール、布類は半分以下となっています。中でも雑誌の分別率が極めて高く、ほとんどの市民が資源として分別していると言えます。

この結果、資源化率(ごみを資源とする割合)が平成13年度の10.5%から21.4%に跳ね上がりました。しかし、近隣の松戸市の資源化率は26.9%、柏市は30.4%で、市川市も35%以上を目指しています。

今後も、資源循環型のまちをめざして、より一層のご協力をお願いします。

## “じゅんかんパートナー”の活動ますます活発化！

市では、このニュースの創刊号でお話したように、「じゅんかんパートナー制度」を設置して、さまざまなごみ問題に市民の方々と一緒に取り組んでいます。現在139名のパートナーさんが市内各地でいろいろな活動をしています。今回はその方々の活動の様子をご紹介します。



上の写真は、中山町会主催の運動会で、三人のパートナーさん(市川東部地区乾さん、大柏地区芳賀さん；写真の二人とこの他設営協力の市川東部地区村上さん)が資源物とごみの新しい分け方出し方を説明されている様子です。



市川東部地区(鬼高)パートナーの高橋礼子さんは、12分別による資源回収が進めば進むほど問題となってくる生ごみの対策として、自ら電気式生ごみ処理機を購入し、実践するとともに、自治会ぐるみの取り組みや市民祭りでのPRなど、普及に力を注がれています。行徳地区パートナーの方々は、リーダー東條さんを中心に、グループでごみステーションの様子やスーパーでのごみ対策を調べられています。

この他、地域のごみステーションのごみ出し状況を見回ったり、不法投棄のパトロールをしたり、新しい分別方法を市に代わって自治会等で説明したりと、みなさん一生懸命に地域での循環型に向けたごみ対策に取り組まれています。

### 知っておきたいごみ知識

Q;ビン・カン、紙類・布類の日に取り残しが多いのはなぜ？

答;この日に市が収集を委託している業者はビン・カンの収集業者 紙類・布類の収集業者 と別々の2つの業者で、ビン・カンが収集された後も紙類・布類が残っているのもまだ収集に来ていないものと勘違いされてビン・カンを出されるケースが多いようです。必ず朝8時までに出示しましょう。

Q;なぜ燃えるごみの収集が週3回でプラの収集は週1回なの？

答;ごみの収集委託は 収集エリア(地域)、収集量、 収集回数 等で決めています。燃やすごみは年間で12~13万ト、プラスチック製容器包装類は約6~7千トで、燃やすごみの5~6%です。そこで、現在は燃やすごみを週3回、

プラ容器を週1回集めています。

今回の12分別で燃やすごみの量が約22%減りましたが、収集回数を週2回にすると1回の収集量が多すぎてしまいます。

今後、市民のみなさんの取組や状況の変化に応じて収集回数の変更をしていきたいと思っています。

Q;市川市民だけが12分別なの？

答;市川市は今回の変更で資源8種類を分別収集としましたが、松戸市では11種類、船橋市では9種類となっており、決して多い方ではありません。ちなみに我孫子市では16分別、水俣市では24分別という例もあり、ごみにしないで資源とする取組が各地で進められています。

# レジ袋はいりません わたしはマイバッグでお買い物

## 買い物袋持参運動



市川市立大野小学校  
大石橋正美さんの作品

14年度はモデル商店会を拡大、本八幡駅周辺地区、大和田・大洲地区及び行徳駅前地区商店会計約300店舗を対象に、約2000人の市民モニターで実施!

“買い物袋持参運動”は、毎日の買物で当たり前に受け取っているレジ袋が、毎日市内で約1000トンほど消費されていることから、このレジ袋(ごみ)を少しでも減らすため、市民(消費者)と事業者(商店)と市(行政)と一緒に力を合わせて取り組んでいるものです。

この運動でモニター(約2000人)が減量するレジ袋はおよそ20万枚になります。

今後はモデル地区での取組をもとに、大手スーパーや小売店などと協力して運動を拡大して行く予定です。



# じゅんかん堆肥を販売しています!

市では街路樹や公園樹木の剪定枝葉のチップと生ごみから良質の堆肥(土壌改良材)を製造し、“みどりのリサイクルプラン”として格安で販売しています。皆さん、ぜひご利用ください

販売価格は、40% (20kg)入1袋450円です。

市リサイクルプラザ(鬼高)、清掃公社(二俣新町)、各地域の農協支店などで販売しています。

### <販売先>

(財)市川市清掃公社(二俣新町)	☎327-8100
リサイクルプラザ(鬼高)	☎335-9951
(有)グリーンアース(堀之内)	☎374-8877
(株)宮崎実蔵商店(平田)	☎322-3681
ユニディ菅野店	☎320-0011
ユニディ千鳥町店	☎390-2551
農協経済センター(柏井町)	☎338-3500
市内農協(中央、国分、鬼高、原木中山、行徳、南行徳、浦安)支店	



じゅんかん堆肥



## ～生ごみ処理機(電気式)購入費補助制度～

12分別によって資源物がごみから除かれると、残るターゲットは生ごみです。この生ごみ対策として、市では生ごみ処理機の購入価格の1/3(2万円上限)を補助しています。

(問い合わせ先) リサイクル推進課 ☎334-1111

“資源循環型都市いちかわ”をめざして、

# “いちかわじゅんかんプラン21”を推進しています！

市では、13年度に、10代の大学生や60代の自治会長など10人の市民と、事業者、専門家、行政担当者の計15名による“じゅんかんプロジェクト”を組織し、先進市視察、処分場見学、さまざまな議論・検討の結果でき上がった案を基に、今後10年間(平成23年まで)の市の廃棄物処理計画(じゅんかんプラン21)を策定し、循環型社会に向けたさまざまな取組を進めています。

その一つが昨年10月から始まった12分別収集ですが、一番大切なのが『ごみを出さない、ごみにしない』こと(ごみの発生抑制)であり、現在新しいメンバーによるじゅんかんプロジェクト2で15名の市民がこの問題を真剣に議論しています。

プロジェクト2は、10代の高校生から80代のベテランの方まで幅広い年齢層の市民が集まり  
意識を高める方法 生ごみを家庭で減らす方法  
容器包装ごみを減らす方法の3つのグループに分かれて、熱心な議論を重ねています。

また、ごみの発生抑制については、廃棄物減量等推進審議会(会長；三橋規宏千葉商大教授)でも検討し、答申が出されていますので、この結果も次号でお知らせします。



じゅんかんプロジェクト2会議

## じゅんかんプロジェクト2のメンバー紹介

市民(東菅野)	井上 和子	在学(本中山)	島田 孝太(市川東高生)
“(広尾)	岩崎 恵美子	市民(末広)	鈴木 菊子
“(菅野)	宇田川みをり	“(新田)	竹内 かほる
“(中山)	角田 千代	“(東国分)	中村 恭子
“(北方)	加藤 清秀	“(妙典)	橋本 進
“(南八幡)	神林 裕子	“(稲越町)	藤田 まさ子
“(市川)	北村 亨：座長	“(幸)	吉岡 孝子：副座長
“(平田)	佐藤 聡美	以上15名(敬称略)	

～じゅんかんだより(編集後記)～

いま全国のごみ処理が大きく変わってきています。

ごみは今まで、“集めて”“燃やして”“埋める”という流れで処理されてきました。しかし、多くの自治体で当たり前に取り組みられてきたこの処理の流れが、ダイオキシンや地球温暖化などの環境問題もあり、“なるべく燃やさない”“なるべく埋めない”いわゆる資源循環型の方向へと変わってきたのです。



私たちは、未来の子ども達のためにも、ごみをできるだけ減らし、資源が循環するまちを目指していかなければなりません。市民のみなさん、事業者のみなさんと力を合わせてごみの問題に真剣に取り組んでいきたいと思っています。よろしくをお願いします。(K)





環境清掃部

じゅんかんニュース

< 第3号 >

発行日:平成15年 6月18日

発行:市川市環境清掃部

リサイクル推進課

☎(334)1111

## クリーンセンターで爆発事故!

3月12日午前9時過ぎ、クリーンセンターで大きな爆音がおこり、建物が揺れました。爆発が起きたのです。

大型・不燃ごみを破碎する破碎機内で爆発があり、大きな音と共に揺れは隣接する管理棟でも感じられました。

### 破碎機の爆発は

クリーンセンターに搬入される、大型ごみ・不燃ごみは、そのまま焼却処理ができないため、破碎機で15cm程度に粉碎後に選別処理をしています。破碎機では大・小のハンマーを高速で回転させて破碎しており、可燃性ガスが入ったガスボンベ・カセットボンベ・スプレー缶等(写真に記載)で、容易に爆発を起こしてしまいます。



今回は、屋外のキャンプやバーベキュー等で使用されている2kg用プロパンガスボンベ(写真の一番左)の破片が発見されており、これにガスが残っていたために爆発しました。

**大きな負担・費用が**  
この爆発により、破碎機の搬出コンベアやダクト類が破損し、修繕に多額(今回は約3,000万円)の費用がかかると共に、この修繕を行うのに15日間も施設を使用できず、ごみを貯めるピットが満杯になり、別の場所に大型・不燃ごみを保管、移送するなど、クリーンセンターの業務に大きな支障を来しました。



このような爆発事故が平成14年度は、大小あわせて14回起きています。

### ご協力を、プロパンボンベは出せません!

使用済みのプロパンガスボンベは、購入した販売店で引き取ってもらってください。可燃性ガスが入ったスプレー缶等は中身を使い切り、穴を開けて、完全に空にして出すよう徹底してください。ご協力をお願いします。(クリーンセンター)



## ~ プラスチック容器包装類は祝日も収集しています。 ~

昨年10月からスタートした12分別収集のうち、プラスチック容器包装類はかさばり、家庭内

祝日の収集日

実施年月日(曜日)	祝日名	収集対象地区
H15. 7.21(月)	海の日	プラスチック容器包装類 月曜収集地区
H15. 9.15(月)	敬老の日	プラスチック容器包装類 月曜収集地区
H15. 9.23(火)	秋分の日	プラスチック容器包装類 火曜収集地区
H15.10.13(月)	体育の日	プラスチック容器包装類 月曜収集地区
H15.11. 3(月)	文化の日	プラスチック容器包装類 月曜収集地区
H15.12.23(火)	天皇誕生日	プラスチック容器包装類 火曜収集地区
H16. 1.12(月)	成人の日	プラスチック容器包装類 月曜収集地区
H16. 2.11(水)	建国記念日	プラスチック容器包装類 水曜収集地区
H16. 3.20(土)	春分の日	プラスチック容器包装類 土曜収集地区

プラスチック製容器包装類以外の「資源物」「ごみ」の収集はありません。収集日当日午前8時までに指定袋に入れて出してください。

での保管等が困難との声も寄せられています。そこで、回収日が祝日と重なった場合でも、プラスチック容器包装類の回収作業を行い、どちらの地区でも週1回必ず収集しています。(清掃事業課)



## 平成14年度 清掃行政協力者表彰

この表彰は、昭和54年度から行っており、ごみの減量化や地域の環境美化など、清掃行政に協力的な活動をされた方に感謝の意を表するものです。

平成14年度は下記の10団体に千葉光行市長から表彰状が授与されました。(リサイクル推進課)



受賞者の皆さん

団体名	活動内容
市川市立真間小学校	平成13年から、生徒たちが家庭からアルミ缶を持ち寄り、専門業者に引きとってもらい、その資金で車椅子を購入し、社会福祉協議会に寄付している。
市川市立国分小学校	平成13年から、クリーンスマイル活動として登校時に通学路の清掃を実施し、地域の美化に貢献している。
市川市立第一中学校	ごみの不法投棄が多い里見公園下から江戸川河川敷を自治会と合同で清掃し、その後も自主的に清掃に取り組んでいる。
ライトビッグタウン	北総線松飛台駅を中心に毎月地域の清掃に取り組んでいる。通常の参加人数は10人程度で、平成8年10月から取り組んでいる。
万葉グループ	平成11年12月頃からJR武蔵野線大野駅周辺を毎月1回清掃している。また、老人ホームの清掃や、バザーによる収益で車椅子の寄付などを実施している。
新井ボランティア同志会	平成12年から江戸川区との境の今井橋から南行徳駅までの歩道や公園の清掃を毎月1回実施している。また、バザーの売上金を福祉事務所に寄付している。
南行徳ヒューマンサークル	平成11年から地元の南行徳公園周りを毎月1回清掃している。会員は13名、女性が多い。また、三番瀬クリーン作戦などにも積極的に参加している。
鬼高自治会	自治会として始めて生ごみ処理機の購入に対して補助金を自治会から支出。会員の購入を側面から支援し、環境問題に積極的に取り組んでいる。
TDK株式会社市川テクニカルセンター	社員の意識改革として毎月1回30~40人で1時間程度、JR本八幡駅から社屋までの歩道の清掃に取り組んでいる。
市川港開発協議会	市川港開発協議会(会員数81社)の環境専門委員会は会員各社に呼びかけ、5年程前から春と秋の年2回2時間程度、定期清掃を一斉に実施している。

## じゅんかんパートナーの活動報告！

「じゅんかんパートナー」とは、市とともにさまざまなごみ問題に取り組んでいる市内各地域にお住まいの市民の皆さんです。その方々の活動の様子をご紹介します。

古藤鈴代さん(曾谷下貝塚)

自治会の定期総会に出席させていただきました。

総会の資料の中にもごみ収集が12分別になって皆さんに気をつけていただきたい点を載せてもらいました。この資料を参加役員の皆さんに見てもらえたこと、各家庭に回覧もされますのでよかったと思います。



伊藤利正さん(南行徳)

4月の引越しシーズンが近づく、大型ごみの不法投棄、特に家具が目立つ。先日も公園にたんすが捨てられ、市に連絡し撤去

してもらった。また、その後も大人一人では運べないほどの大型ごみが捨てられ、対処しました。これらに共通するのは、いずれも夜間は人通りが少なく、照明も充分でないところです。これらの点に留意し、一層パトロールを強化し、この地区を明るい清潔な地区にしたいと思っています。

その他、各地域のパートナーの皆さんから多くのご報告を頂いております。(リサイクル推進課)



パートナー着用  
ロゴ入りブルゾン

## リサイクルプラザのホームページを開設しました。

URL <http://www.city.ichikawa.chiba.jp/rcplaza/index.html>



トップページ



例えば、この学習机は  
(4,000円)です。

### インターネットで展示品がご覧になれます。

リサイクルプラザではタンス・机などの展示品をホームページで公開しています。ご希望の商品は来館、電話、FAXでお申込みください。

また、家庭で不用になった家具などがありましたら、プラザまでご連絡ください。無料で引き取り、修理をして販売し、その収益は福祉に役立てています。

(品物の種類や状態により引取りができない場合があります。)

### しかも、閉館時間を2時間延長します。

ゆっくりとご覧いただけるようプラザでは6月から9月末までの期間、閉館時間を2時間延長し、午前9時から午後7時まで開館しています。この機会にぜひご来館ください。詳しくはプラザまで。

(問合せ先)

市川市リサイクルプラザ ☎335-9951~3



## 雑草の刈り取りは管理者の責任で!

空き地に雑草が目立つ季節になりました。

雑草が生い茂って、そのまま放置しておきますと周囲に迷惑を及ぼします。空き地の雑草は、その土地の管理者の責任で刈り取りをお願いいたします。

なお、**草刈機の無料貸し出し**を行っておりますので、ご利用される方はお問い合わせください。(環境衛生課)



小型草刈機

### アメリカシロヒトリ(毛虫)駆除事業が廃止となりました。

民有地の樹木については、所有者(管理者)の責任において駆除をお願いすることとなりました。ご理解ご協力をお願いいたします。

なお、**家庭用噴霧器の無料貸し出し**を行っておりますので、ご利用される方はお問い合わせください。(環境衛生課)

(機械は初めての方でも使えますが、取扱いには十分ご注意ください。)



圧力式噴霧器

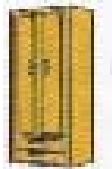


**じゅんかん白書を発行しました**

資源が循環する、環境にやさしいまちを目指す市川の様々な取り組みと年次報告を掲載した「じゅんかん白書」が図書館等で閲覧できます。(リサイクル推進課)

**7/1 から大型ごみサポート収集スタート!**

現在、お一人で生活している方で、高齢者又は障害をおもちの方へのサポート事業の一環として、不用になった「大型ごみ」の、屋外への持ち出し収集を実施する計画です。詳しいことは、広報「いちかわ」でお知らせいたします。(清掃事業課)



**電気式生ごみ処理機補助制度**

12分別によって資源物がごみから除かれると、残るターゲットは生ごみです。生ごみ対策として、市では家庭用生ごみ処理機の購入価格の1/3(2万円上限)を補助しています。



(リサイクル推進課)

**クリーンセンターのISOが更新審査に合格**

クリーンセンターは、環境の保全・改善を行う国際規格(環境マネジメントシステムISO14001)の認証を、平成12年2月に取得しています。このシステムにより、ごみ焼却に伴い発生するダイオキシン類、塩化水素等の排出の低減などの様々な取組を行ってまいりました。この度、外部審査機関による更新審査を受審し、指摘事項も無く高い評価で更新登録されました。



(クリーンセンター)

**この秋に、ごみマニュアルを発行します**

ごみと資源物の分別の仕方や、身近なごみの疑問・減量方法に答えるごみマニュアルを作成します。ご期待ください! (リサイクル推進課)



**廃棄物減量等推進審議会からの答申内容**

「資源循環型都市いちかわ」を実現するには、これまでの後追いの対策ではなく、ごみの発生を抑える“上流対策”が必要であり、マイバッグ持参運動などのごみをなるべく出さないライフスタイルを広めていく必要があります。家庭ごみの有料化については、将来的には避けられない課題ですが、負担の公平性、減量効果などを十分検討し、市民の合意を得た上で実施すべきものと考えます。(リサイクル推進課)

**<じゅんかんだより(編集後記)>**

12分別収集を開始して、早くも8ヶ月が過ぎました。今年の3月までの6ヶ月間の「燃やすごみ」の収集量は、各月共21%~23%の減となっており、市民の皆さんのご協力で確実に効果が出ておりますが、ごみ量全体では3.9%の減と、まだまだのようです。より多くの方の分別への取り組みが必要です。ごみステーションを見て回りますと、きちんと資源を分別している方と未だにごちゃ混ぜで「燃やすごみ」の方と、混在しているようです。「何かなければ実行できない」方のためにはやっぱり燃やすごみの有料化が必要なのかな?と思ったりしています。

分別先進国のドイツから“リサイクルボックス”を取り寄せて展示(本庁とメディアパーク)しています。アンケートにご協力いただいた方、ありがとうございました。今後市内の小中学校での環境教育の教材として活用していく予定です。(K)



ドイツ製リサイクルボックス



環境清掃部

じゅんかんニュース

< 第 4 号 >

発行日:平成16年2月18日

発行:市川市環境清掃部

リサイクル推進課

☎(334)1111

## 12 分別が早 1 年余り過ぎました。

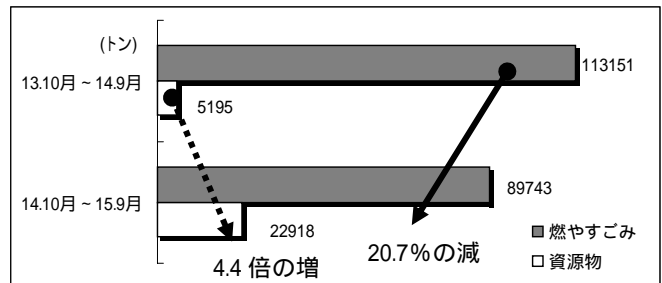
市内に処分場を持たない市川市としては、燃やすごみをできるだけ少なくして、埋立て処分すべき残渣(灰など)を減らしていく必要があります。そこで、平成14年10月から、紙類やプラスチック容器包装類を資源として収集する12分別収集が始まりました。

今回は、開始から1年間(平成14年10月～平成15年9月)の12分別を検証してみました。

### 1. 収集量

今回の目的の一つでもあった“燃やすごみ”の収集量の削減については、前年(13年10月～14年9月)113,151トに対して、89,743トとなり、23,408ト; 20.7%の減となりました。

また、資源物を、以前のピン・カン2種類から紙4種、布、容器プラと計8種類分別収集することにより、資源物の収集量が前年同期5,195トから22,918トと4.4倍の収集量となりました。



### 2. 予 算

燃やすごみの減少にかかる経費の削減

クリーンセンターでは、持込みごみの増加などもあり、可燃ごみの量は14.5%の減にとどまっています。これにより、焼却量の減少、焼却に伴って発生するガス量(大気汚染物質やダイオキシン類、地球温暖化ガスなど)や焼却残渣(灰など)が減少しています。また、有害物質などの発生を抑えるための薬品類の使用量の減少などにより、約8千万円弱の予算が削減されました。



焼却灰の埋立て

売電収入の減少等

反面 紙類やプラ類の減少により、燃えやすいものが減り、発電量の減少、焼却残渣率(灰

などの残渣として残る割合)の増加などのマイナス面もありました。

(発電が減り、売電収入で約5千万円の減収となっています。)

収集運搬経費の増加

ごみの分別を増やすことにより、新たに容器包装プラ類と紙布の収集が増え、容器包装プラ類では収集運搬・中間処理(選別、圧縮、梱包)・再資源化合わせて5億6千万円弱、紙布では収集運搬経費で2億円の予算が必要となっています。この費用は、分別を増やしたり、収集回数を増やしたりすると増加することから、今後より効果的な資源回収方法を検討していきます。

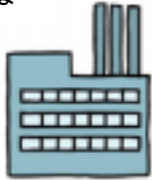


# 市の廃棄物条例が変わります！



市のごみ処理に関する条例(市川市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例)が変わり4月1日より実施となりますので、主な変更点をご紹介します。

例えば



クリーンセンターへのごみの持込は



10kgにつき  
180円となります

市民が管理するごみステーションから、有価物だけを持ち去ることが禁止となります。

事業系ごみは、事業者が自らの責任で処理することが原則です。このため、事業者が事業系ごみを家庭用ごみ集積所に出した場合の指導等の規定を定めました。店舗併用住宅で少量の場合の例外も定めました。

ごみの不法投棄者は法律で厳しく罰せられますが、土地所有者等も土地を適正管理することが求められます。適正な管理をせずに投棄された場合は、その土地所有者等に撤去義務があることを明文化しました。

クリーンセンターへのごみの持込みは、現在は家庭系であれば100kgまで無料ですが、持込みごみの量が増え続けているため、4月からは事業系・家庭系関係なく、持込む量に応じた金額(10kgにつき180円)となります。

みなさんのご理解とご協力をお願いします。

まちをきれいに！

## 駅前やバス停のごみ箱、吸い殻入れが撤去されます

いままで、市川市では、まちをきれいにしようと、駅前やまちかどにごみ箱を設置し、定期的に掃除していましたが、市の顔ともいえる駅前などのごみ箱に家庭ごみやポイ捨てごみがあふれ、逆に美観を損なう状況となっていました。そこで、昨年10月よりモデル的にJR市川駅と本八幡駅



撤去前



撤去後

周辺のごみ箱・吸い殻入れ等を撤去したところ、良好な状況となっていますので、4月1日から市内16駅等にこの取り組みを拡大していきます。

## 市民マナー条例が制定されました！



主要駅を中心に駅周辺の環境美化に取り組み、きれいで気持ちよいまちづくりを進めようと、市では、歩きタバコやごみのポイ捨て、犬のふんの放置などを防止する条例(市民等の健康と安全で清潔な生活環境の保持に関する条例)；通称“市民マナー条例”を昨年9月に制定しました。

4月1日より、この条例の施行に当たり、罰則の適用(2000円の過料)を含めた本格的な指導が開始されます。

まちをきれいに！

## 私たちが調べてみました！

12分別が始まって、早くも1年以上が経ちました。この間、市民の皆様は、さまざまな取り組みや工夫をされていることと思いますが、その実態をじゅんかんパートナーの方々に調べていただきました。

実施	第1回；平成15年6月	第2回；平成15年10月
対象数	第1回；1,476世帯	第2回；1,180世帯
内容	アンケート形式、じゅんかんパートナーが配布、回収	
設問	分別の状況、ごみの収集回数、プラごみの排出量、自由記載、等	
結果	資源の分別状況は、ビンカン；96.3～96.4%、新聞・ダンボール・プラ容器；90～92%、雑誌；87.3%、紙パック；74.6%でした。 プラスチック容器包装ごみは、毎週1袋以下、2週に1度以下の世帯が合わせて81%で、毎週2袋以上の世帯は14%でした。	

じゅんかん  
パートナー  
140名の奮闘記



ごみの12分別収集により、資源が分別され、燃やすごみ量が減ってきましたが、残る課題として生ごみの資源化・減量化に取り組んでいく必要があります。

市では、生ごみ処理機やコンポスト容器購入を支援したり、モデル的に学校給食の残飯を剪定枝葉チップと合わせ堆肥化し、高品質低価格のじゅんかん堆肥として販売するなど生ごみ対策にも取り組んでいます。皆さんもぜひ生ごみの減量化・資源化とじゅんかん堆肥活用にご協力ください。



例えば、電気式生ごみ処理機の補助金額は

購入価格(消費税を除く)の3分の1で、  
2万円が限度になります。

お問合わせは、リサイクル推進課へ



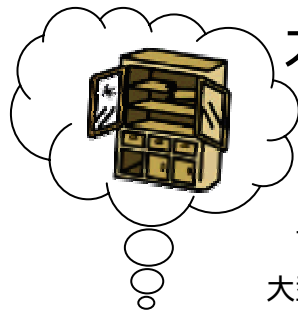
生ごみ減量・資源じゅんかん  
対策にご協力を！

## 大型ごみのシルバーサポート 収集って知っていますか？

市では、一人暮らしの高齢者(65歳以上)や障害者の方など大型ごみを屋外に出すのが困難な世帯に対して、屋内からの収集サービス(サポート収集)を行っています。

昨年7月1日から開始し、12月までの半年間で60件延べ193点の家具類、寝具類などの搬出をお手伝いしています。

お問合わせは、清掃事業課へ



# 私たちがつくりました！ ごみ分別マニュアル・・・

## じゅんかんプロジェクト3



市民と行政が一緒になってごみ問題を考え、取組んでいく“じゅんかんプロジェクト”。15年度は市民の目線で“使いやすい”“わかりやすい”ごみ分別ガイドブックづくりに取り組みました。

この冊子は、2部構成で、第1部はあいうえお順に品目ごとに分別区分を表にしました。第2部はじゅんかんプロジェクト2が提案する“家庭で取り組むごみ減量対策”や身近なリサイクル情報などを載せてあります。全ご家庭にお配りしておりますが、まだお持ちでないご家庭は市リサイクル推進課までご連絡ください。

じゅんかんプロジェクト3のメンバー(敬称略:あいうえお順)

池田洋子	石井喜美江	井上幸子	井上紫織	内田元子	小野恒
斉藤るみ子	高樋順子	田嶋晃	原田佐喜子	藤田まさ子	



### 第6期 廃棄物審議会が開催されました！

平成15年度は、新委員に三本木徹氏(廃棄物研究財団)、石井和男氏(全国都市清掃会議)、岡本亨二氏(日本IBM)などの専門家を加え、市の廃棄物条例の改正について3回の審議を終了し、10月22日に市長に答申しました。

### 買物袋持参運動が3年目を迎えました！

平成15年度は、市川駅周辺、真間・国府台地区、南行徳駅周辺、新井地区を中心に、市内全域を対象として、3,535人の市民モニターの方々と、465店の店舗の参加協力を得て実施しています。モニター、モデル地区を定めての取り組みは本年度で終了し、



レジ袋を減らそう！

今後は、消費者代表、事業者代表、商工会議所、市で構成する買物袋持参運動推進検討会を中心に取り組んでいきます。

### パソコンリサイクルがスタートしました！

平成15年10月1日から、家庭用使用済みパソコンの、メーカー等による回収、リサイクルが始まりました。

不要パソコンをリサイクルすると、鉄・銅・アルミなどはもちろん、金・銀などの希少金属まで資源として再利用できます。今後、市でも従来どおり回収しますが、できるだけメーカー回収へのご協力をお願いします。



### 家電リサイクル品が追加されました！

ごみとして棄てられない家電品が追加され、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、クーラーの他、4月1日より新たに冷凍庫も対象となります。

### <じゅんかんだより(編集後記)>

いま、市内の小中学校で、学校版のISOに取り組んでいます。先日、15年度の取り組みの発表会があり、ごみの減量やリサイクル活動、地域の美化活動などが報告されたそうです。中には、“町びか登校”といって、通学途中でごみ拾いをしている例、ISOではないのですが、空き缶のプルトップを集めて、車椅子を購入し、病院に寄付した例、学校や駅周辺の清掃活動に取り組んでいる例などすばらしい取り組みがたくさんあります。これらの市川の将来を担う子供達の取り組みは頼もしい限りですが、私たちも負けないよう心がけたいものです。(K)





## 環境清掃部

# じゅんかんニュース

## 12分別の取り組み効果

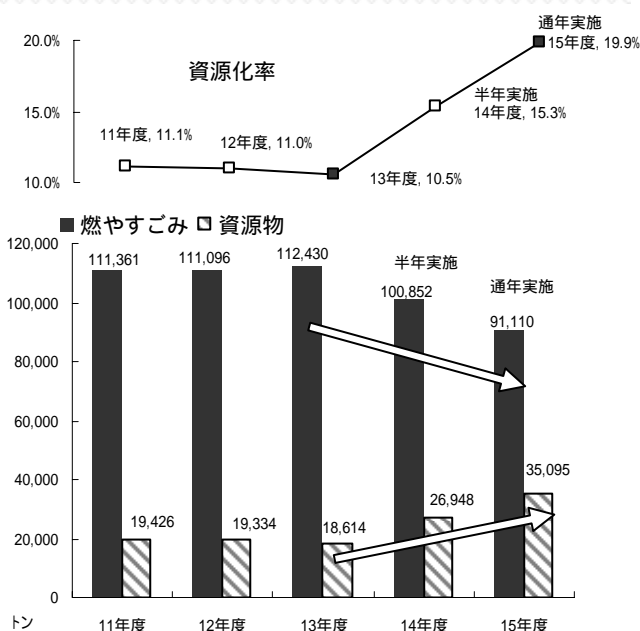
今までのやり方を変える！ 初めの一步にはとまどいがありました。あれから2年... ごみの量を減らし、できるだけ資源として活用することを目的として開始した“ごみの12分別”では、今、さまざまな効果が見えてきました。

### 減った燃やすごみ、増えた資源物

ごみ集積所に出された燃やすごみの量は、12分別実施前の13年度と通年実施となった15年度で比較すると、112,430 トンが 91,110 トンとなり、19.0%減少しました。また、資源物の量(集団資源回収を含む)は、18,614 トンが 35,095 トンとなり、88.5%増加しました。さらに資源化率も12分別を契機に上昇しています。



詳細については、出前説明会やホームページで公表していきます。



### 資源物の分別の状況(どれだけ資源として分別できたか)

平成15年度  
資源回収率  
(推計)



新聞 37%



雑誌 55%



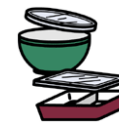
ダンボール 64%



紙パック 17%



布類 17%



プラスチック製  
容器包装 54%

資源回収率(推計)は、資源物ごとに違いがみられます。紙類では雑誌・ダンボールの回収率が比較的高い結果となりました。これは、雑誌・ダンボールが資源として分別しやすいためと思われます。

紙パックや布類の回収率が低いのは、紙パックはゆすいで切り開いて乾かすこと、布類は輸出用衣料として再利用するため清潔な状態に出さなければならないこと、などの点が考えられます。

プラスチック製容器包装については、12分別

への移行にともなう住民説明会を約300回実施した中で、一番わかりにくい区分であることから重点的に説明をしてきました。市民の皆さんの分別への協力度も高くなっています。この他、燃やすごみが減って、有害物の発生も少なくなっています。

今後も12分別の検証や効果的な回収を行ない、資源循環型のまち“いちかわ”を目指していきます。

## 余熱利用施設の建設を PFI 事業で進行中！

クリーンセンターから発生する余熱を利用する温水プールなどの施設の建設が9月1日から始まり  
ました。開設は平成17年11月の予定です。

起  
工  
式



完  
成  
予  
想  
図



### 施設の概要

建物は地上2階建て鉄骨造り、床面積は約4,600平方メートルです。内部施設として、プールゾーンには一般向けプール25メートル8コース、多目的プール、子供用プール、風呂ゾーンには一般風呂、露天風呂、サウナなどがあり、このほかに100畳の大広間や集会室などがあります。

### PFIとは

PFI (Private Finance Initiative) とは、公共施設の設計、建設、運営、維持管理に民間の資金、経営能力、技術能力、創意工夫を活用することにより、より良い公共事業の整備と公共サービスを市民の皆さんに提供することです。

**クリーンセンターの施設が大変なことになっています！**

市民の皆さんや、店舗、事務所から出されたごみは、全てクリーンセンターに運ばれます。そのうち燃やさないごみは、そのまま埋立てるのではなく、破砕機の大きな鋼鉄製のハンマーで砕いて、小さな破片にしてから、資源として鉄、アルミニウムを選別し、燃やすものは焼却し、残った不燃の屑は最終処分場に埋立てます。その砕く際に、ごみの中に中身の入ったカセットボンベやプロパンガスボンベが入っていると、爆発の危険性があり、職員の安全の問題以外にも、修繕のため処理施設を休止するほかに、多額の費用が掛かります。平成14・15年度には大きな爆発を起こし、半月も処理施設が止まってしまいました。



(クリーンセンター)

### ごみゼロ推進全国大会で マイバッグ運動の成果を発表

曾谷第6自治会(箕輪一男会長)が市川市と連携をとりながら、独自で展開しているマイバッグ運動の取組みが、全国で行なわれているごみゼロ推進先進事業の中で特に功績のあった4事例に選ばれ、10月22日静岡市で開催された同大会において、その成果などを発表しました。

発表した内容は、マイバッグ製作の苦心談、自治会全世帯参加へのお願い、地元商店会への協力の取り付け、アンケート調査結果からの今後の運動への取り組み姿勢などについてです。

(リサイクル推進課)

# 事業所のごみ処理について

## ご存知ですか？



市川市内には、約 13,000 件以上の店舗、事務所等が点在しています。

事業活動に伴って発生する、書類やダンボール、茶殻、残飯など全ての「ごみ(事業系一般廃棄物)」は、事業者自らの責任で適正に処理することとなっていますが、未だ「適正処理」を行わず、一般家庭用のごみ集積所へ出すケースが多く見受けられます。

## 適正処理とは…

排出事業者が自らクリーンセンターに搬入する方法と市が許可をした民間の収集・運搬業者に処理を委託する方法があります。現在、排出事業者とは面談などをして、より一層の適正処理を求めているところです。また、違反事業者に対しては、指導を強化していくことになります。



## 現在、駅周辺を中心に順次指導中です！



事業系ごみは、市が収集しているごみ置場には出せません。

事業系ごみは、適正処理(契約・持込)が法律で義務付けられています。

悪質な違反には、罰則として過料や公表の処分もあります。

(廃棄物対策課)

## じゅんかん堆肥



## 持ち運びに便利な 15リットル袋を発売！

じゅんかん堆肥は、資源の有効利用を目的として、クリーンセンターに運び込まれる剪定枝葉をチップ化したものと学校給食の調理くずを生ごみ処理機で処理したものを混ぜ合わせて、高温自然発酵により完熟させた土壌改良材です。

10月からは持ち運びに便利な15リットル袋(約7.5kg)の販売を開始しました。

事業者向けの販売については、清掃公社までお問い合わせください。

(15リットルと40リットルの販売店)

(財)市川市清掃公社	市川市二俣新町13-1	047-327-8100
市川市リサイクルプラザ	市川市鬼越2-18-17	047-335-9951
ユニディ菅野店	市川市菅野6-7-1	047-320-0011
ユニディ千鳥町店	市川市千鳥町1	047-390-2551
(株)角田建材金物店	市川市高谷2-13-2	047-328-2301
(有)栗原米店	市川市若宮2-7-13	047-334-4754

(40リットルの販売店)

市川市農協経済センター	市川市柏井町3-102-3	047-338-3500
(株)宮崎実蔵商店	市川市平田1-10-19	047-322-3681
(株)グリーンアース	市川市堀之内4-15	047-374-8877

販売価格 15リットル/7.5kg 1袋につき 347円(消費税込)

40リットル/20kg 1袋につき 473円(消費税込)



15リットル

40リットル



学校などに設置の  
生ごみ処理機

# ガーデニングに！

# 150名のじゅんかんパートナーが市内を巡回!

委嘱状交付式



7月1日の委嘱式では、出席者一人一人に千葉市長より委嘱状が手渡されました。今後、3Rの推進、地域のごみ集積所や不法投棄の状況管理などを行い、任期2年の間、市民と市のパイプ役として、地域で活動を進めていきます。

## “じゅんかんパートナーの活動報告”

京成菅野駅付近のポイ捨てや不法投棄などの見回りを、グループで行ったところ、放置自転車が多く道が狭く危険なため、市に撤去を依頼するなど、リーダーを中心に積極的に活動を行っている。(菅野・須和田地区)

市の公園緑地課と相談しながら大柏川沿いの緑地帯の清掃を行っている。(菅野・須和田地区)

地域のごみ集積所が汚れていると、周辺の住宅に分別チラシを配布して啓発活動を行っている。(市川東部地区)

他にも不法投棄の通報など、地域(市民)と市のパイプ役として積極的な活動をしている。

資源循環型のまち“いちかわ”の実現を目指し、ごみの発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再利用(リサイクル)(3R)の推進などに、市民と市が協働で取り組むため、今年度は公募による応募者や自治会推薦者の中から新たに150名を選任し、7

〜自覚〜  
自分一人ぐらいと思ってごみを捨てる。  
地上に一億あまりのごみが落ちている。  
自分だけでもと思ってごみを捨てる。  
地上から一億あまりのごみが消える。  
(兵庫県立柏原高校元教諭小藪さんの詩集より)

## マイバッグ運動として新たな展開!

平成15年度まで地域限定で行われた買物袋持参運動は「マイバッグ運動」と名称も新たに市内全域で10月1日から始まりました。今年の運動の大きな特徴は、モニターにならなくても参加店から消費者の皆さんがポイントをためると市の指定ごみ袋と交換できる、エコカード(数量限定)を直接もらえることです。期間は3月31日までです。皆さんもぜひ参加しましょう。



## 電気式生ごみ処理機の補助金制度のご利用を

市では電気式生ごみ処理機の購入の際に補助金制度を設けています。購入価格(消費税を除く)の3分の1で、**2万円**が限度になります。生ごみ処理機には「バイオ式」と「乾燥式」があります。両機種は、生ごみの量を減らすとともに、処理後にできた生成物は有機性に富んだもので、家庭菜園やガーデニングに有効に利用することができます。



コンポスト容器(屋外用、屋内用)の補助金もあります。

(リサイクル推進課)

## <じゅんかんだより(編集後記)>

じゅんかん・リサイクル社会に向けた一つの教材としてドイツから導入したリサイクルボックスを市川小、中山小から16年度の学校版ISO取組校の大和田小、福栄小に移しました。パートナーシップシティのローゼンハイムの街並みなどもパネルで紹介しています。(K)



## 環境清掃部

# じゅんかんニュース

## 知っていますか? ごみ処理費

ごみを処理したり、資源物をリサイクルするためにはお金がかかります。平成15年度に12分別で集めたごみや資源物を処理するのにかけた費用は、66億8,433万円でした。

### 市民一人あたりのごみ収集処理費は年間 14,434円でした!

燃やすごみ、燃やさないごみ、大型ごみ(有料)などは各ご家庭から集められたのち、焼却または破碎し、他市にある民間処分場に埋め立てています。

昨年1年間で赤ちゃんからお年寄りまで市民一人当たりにかかったごみの収集処理費は14,434円でした。

一世帯(3人家族)あたり約4万3千円かかったことになります。

12分別により燃やすごみの量は19%減らすことができました。ごみを減らしていくことは、ごみ処理にかかる費用を減らすことにつながります。



一世帯3人の場合

### そのうち資源物の収集処理費用は市民一人あたり年間 3,729円でした

ビン・カン、紙・布類、プラスチック製包装容器は各ご家庭でから集められたのち、種類ごとのルートでリサイクルできるようさらに細かく選別したり、まちがって分別されたものを取り除いたりします。

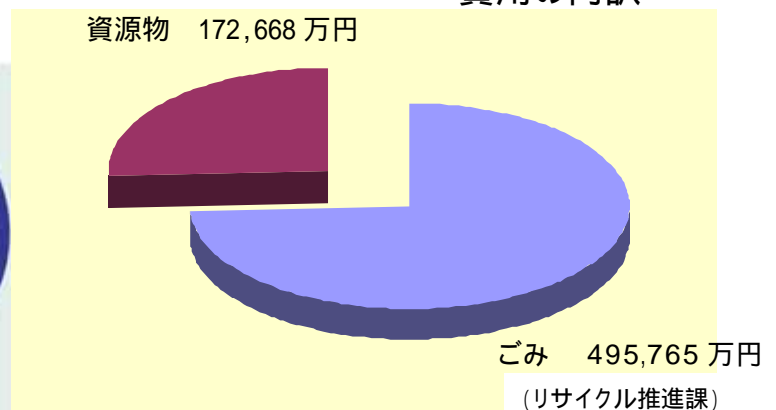
資源物をリサイクルする費用は、ごみとして処分するよりも費用がかかります。しかし“なるべく燃やさない”“なるべく埋めない”、ようにして資源物を有効に利用し環境への影響を少なくしていく必要があります。

資源物のリサイクル費用は、循環型社会に向けたまちづくりに必要な費用です。各ご家庭で分別を徹底していただくことにより、資源物は循環することができます。みなさんのご協力をお願いします。

## ごみ処理費にかかった費用



## 費用の内訳



## ～ 清掃行政の協力者を表彰～



受賞者のみなさん

個人の部	団体の部
桶田 利子 (東菅野在住)	行徳グリーン・クリンの会
佐久間 ヤス (中山在住)	グループ ひまわり北方
土田 道子 (稲荷木在住)	千葉商科大学クリーン作戦
中村 絹子 (妙典在住)	二俣小学校
中山 正義 (宝在住)	高谷中学校

(敬称略)

地域の清掃やリサイクルなどに、積極的な活動をしている方々を表彰する「平成16年度市川市清掃行政協力者表彰式」が11月26日に市長室で行われました。受賞者に市長から感謝の意を表するとともに、今後の活動を奨励するため、感謝状の授与と記念品が贈られました。

この表彰は、昭和54年度から実施しているもので、今年で25回目を迎え、これまで個人と団体を合わせて347件の取り組みに対し表



彰を行っています。

(リサイクル推進課)

## 元市職員の方が「瑞宝単光章」を受章

平成16年秋の叙勲において、清掃業務課元職員植草實さん(柏井町在住)が11月8日に叙勲「瑞宝単光章」を受章されました。翌9日に市長に受章報告を行い、激励のことばをいただきました。植草さんは、昭和35年8月から平成9年3月までの36年間に渡り、家庭から排出される一般廃棄物の収集運搬部門である清掃業務課で塵芥収集運搬業務に従事してお

りました。

市長への受章報告



市民生活を支える重要な分野において、環境衛生の向上と清掃行政の発展に努めたことにより、今回の受章となったものです。

(リサイクル推進課)

## 生ごみのリサイクルをサポート！

電気式生ごみ処理機



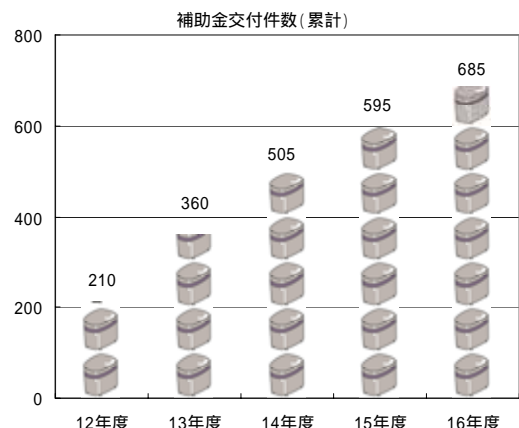
補助金額は最大2万円！

12分別によって資源物がごみから除かれると、残るは生ごみです。

生ごみ減量の対策として、市では、家庭用生ごみ処理機の購入価格の3分の1(2万円上限)を補助しています。

申請書は、市役所総合市民相談課、行徳支所総務課、リサイクル推進課(南八幡分庁舎)で受け付けています。

また、コンポスト容器購入費の補助制度もご利用ください。(購入価格の2分の1、3千円を上限)



生ごみ処理機購入費の補助金制度を、既に685世帯(累計)が利用しています。

H16.12.31 現在

購入する際は、事前にリサイクル推進課へお問い合わせください。電話 334-1111

(リサイクル推進課)

廃棄物の不法投棄は、依然として後を絶ちません。

不法投棄は環境を破壊するだけでなく、私たちの健康を害する恐れがある悪質な犯罪行為であり、絶対に許すことが出来ません。

不法投棄をなくすためには、市民のみなさん一人ひとりが不法投棄は「しない」「させない」「許さない」という気持ちを持つことが大切です。

## 不法投棄の現場!



不法投棄を許さない

最近では、ごみの集積所などの身近な所にごみが放置されることがあります。収集日、分別等のルール・マナーを守りましょう。

土地の所有者の方は、不法投棄されやすい場所に柵や杭を設置したり、不法投棄防止の立て看板を立てるほか、定期的に見回るなど、適切な土地管理に努めましょう。安易に土地を貸すと、廃棄物を不法にたい積されたりすることがありますので、契約書に使用目的などを明記し、もし、廃棄物が持ち込まれたときは、直ちにやめさせ、契約を解除しましょう。

(廃棄物対策課)

## リサイクルプラザの再生品 人気です!

展示品はホームページで、ご覧になれます。 <http://www.city.ichikawa.chiba.jp/rcplaza/index.html>

リサイクルプラザは、家庭で不用となった家具やベビー用品などの引き取りと販売、リサイクル講座、フリーマーケットの開催、家電製品などの情報提供をする施設です。同プラザはリサイクルを推進して、資源循環型社会形成を担う役割を果たしています。

リサイクルできる家具類を無料で引き取ります。お申込は、電話又は直接プラザへ

家具類(タンス、食器棚、ベット、ソファー、テーブルなど)

ベビー用品(ベビーベット、ベビーカーなど)

**!** 品物の種類や状態により引き取りができない場合もあります。

リサイクル品を販売しています。

受け取った家具類、ベビー用品などを、簡単な修理を行った後、展示販売しています。

なお、その収益金は社会福祉事業に役立てています。



〒272-0022  
市川市鬼越2丁目18-17  
JR総武線高架下  
電話 047(335)9951  
FAX 047(335)4429  
開館時間:午前9時~午後5時  
休館日:月曜日、国民の祝日の翌日、  
年末年始



このベビーベットは 4,000 円



この学習机は 5,000 円



このソファーは 5,000 円

(リサイクルプラザ、市川市清掃公社)

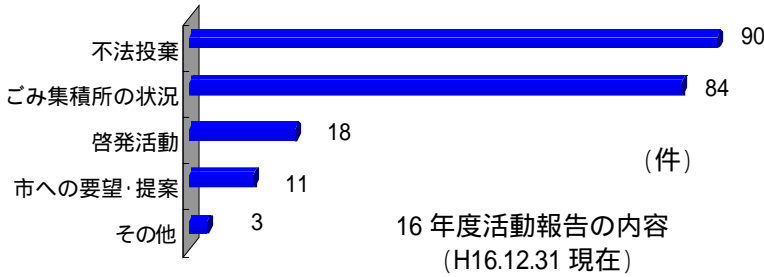


## じゅんかんパートナーの活動報告



菅野・須和田地区のパートナーから、「大柏川付近のバス通りを一緒に清掃しませんか」という提案があり、他の地区のパートナーの方も多数参加して16年11月28日(日)9時から10時までの1時間、活動用の黄色のブルゾンを着用して、歩道などの清掃を行いました。

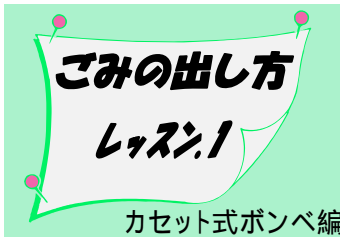
参加した方からは「ポイ捨てごみが余りに多いのでびっくりした」「半年に1回実施し、活動として定着させよう」などの積極的な意見も出されました。また、16年度の活動報告件数は206件となっています。



大柏川付近の清掃

じゅんかんパートナーとは、ごみの発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再利用(リサイクル)という、3Rの推進、不法投棄の監視などに地域の代表として、市と協働で取り組んでいるみなさんです。

(リサイクル推進課)



### カセット式ガスボンベなどの爆発事故防止にご協力を!

鍋料理のおいしい季節となり、ご家庭の食卓で鍋を囲んだ夕食は格別なものです。

そこで、今回は、ご家庭で使い終わった卓上コンロのカセット式ガスボンベの、正しいごみ集積所への出し方について再確認しましょう。

**中身は完全に使い切ってから、風とおしの良い火気のない所で穴をあけて、燃やさないごみとして出してください。**



ガスボンベやヘアースプレー缶などの原因による爆発は清掃車やクリーンセンターでの火災事故につながりますのでご協力をお願いします。

(清掃事業課)

### マイバッグ運動実施中!

市内全域で昨年の10月1日から「マイバッグ運動」を行なっています。市内約560店の参加店の協力を得て実施しています。3月31日まで行ないますので、市民のみなさんもレジ袋の減量にご協力ください。

(マイバッグ運動推進会)



#### <じゅんかんだより(編集後記)>

本格的な寒さに震える今日このごろですが、地球温暖化のせい?か早くも桜のつぼみがしっかりと確認できるようになってきました。市役所は、来年度の予算を計上する時期となりまして、今号は、ごみ処理経費のお知らせから入らせていただきました。12分別も3年目に入り、循環型のごみの少ない健康なまちに向けて、みなさんと力を合わせて精一杯がんばっていききたいと思います。(K)





環境清掃部

じゅんかんニュース

< 第 7 号 >

発行日:平成17年4月15日

発行:市川市環境清掃部

リサイクル推進課

☎(334)1111

17年度清掃予算 資源循環型都市を築く



“資源循環型都市いちかわ”の構築を目指す、清掃費の17年度予算が決まりました。

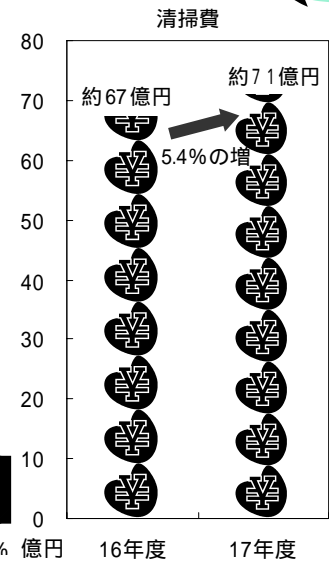
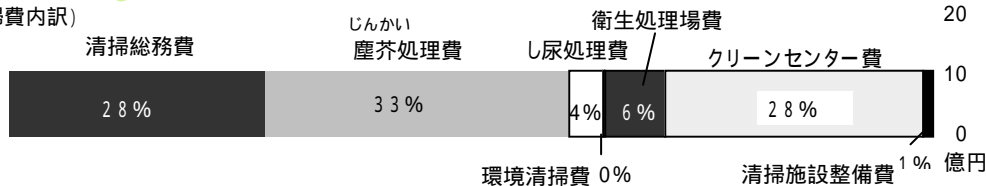
皆さんの家庭から出されるごみの、収集運搬、焼却、埋立、分別、啓発などに係わる経費です。本年度予算は約70億9千万円で前年度に比べ、約3億6千万円、5.4%の増となっています。

この予算は循環型社会を作るための3R(リデュース:物を大切に使う、ごみを減らす、リユース:繰り返し使う、リサイクル:再び資源として利用する)を基本に編成しています。



清掃予算における主な事業の概要についてお知らせします。

(清掃費内訳)



こんなことに使います！



分別収集促進のために (2,101,635 千円)  
分別排出を徹底し、ごみの減量化、資源化を行ないます。

事業系ごみ啓発のために (4,813 千円)  
事業活動で生じた廃棄物の適正処理の指導をします。



その他

不法投棄対策のために (14,916 千円)

パトロールの実施、多発場所への監視カメラの設置を行ないます。



生ごみ減容・資源化推進事業	2,618 千円
生ごみ堆肥化事業	735 千円
衛生処理場水処理設備改修事業	93,366 千円
余熱利用施設建設事業	6,491 千円
廃棄物減量等推進員事業 じゅんかんパートナー	3,672 千円

ゼロエミッションフォーラムのために(160 千円)

国連大学ゼロエミッションフォーラム(ZEF)と市川市が共催でごみに関する先進的な取り組みなどの発表を8月1日に文化会館で行ないます。



こんなことにも使います！

ごみ箱設置整備のために (10,845 千円)

カラスや犬・猫などによるごみステーションの散乱防止、街の美化を推進します。

# 市川市廃棄物減量等推進審議会から 平成16年度の答申がありました

ごみ問題は、市民一人ひとりの生活にかかわる身近な問題であると同時に、資源枯渇やごみ焼却によって温室効果ガスが発生するなどの地球規模での環境にかかわる大きな問題です。

市川市は、廃棄物行政についての長期計画として平成13年度に市川市一般廃棄物処理基本計画“いちかわじゅんかんプラン21”を策定しました。



審議会ではこのプランで目標にしている 市民一人一日あたりの排出量の削減 資源化率の向上 焼却量の削減 埋立量の削減についての進捗状況や、今後、市の廃棄物行政が取り組むべき方向性について、意見を取りまとめ3月31日に千葉市長に答申されました。詳しくは、市民情報センターなどで公開していきます。



審議会

(リサイクル推進課)

## ～ じゅんかんプロジェクト4報告 ～

じゅんかんプロジェクト(循環型社会推進懇談会)が「資源物とごみの12分別」やじゅんかんプラン21の進行管理について検証した“じゅんかんプロジェクト4報告書”を1月26日に小野恒座長から千葉市長に提出されました。

報告書の内容は 家庭から出る生ごみの減量策について 市民へのごみ分別誘導・促進策及び周知・啓発策につ



いての2部構成となっています。詳細については市民情報センター、図書館などにある報告書をご覧ください。



市長報告

(リサイクル推進課)

# マナーとルール



最近、ごみ置場に隣接する住民の方々から苦情や要望が多く寄せられています。

その一つとして、収集日以外に排出されたごみ袋、分別されていないごみ袋などは、ルール違反のため出された方

が持ち帰らない限り放置状態となってしまいます。

このような場所には、ごみがごみを呼び、カラスなどの格好の場所となり散乱や悪臭の原因につながってきます。市が発行している“ごみ分別ガイドブック”などに掲載されているごみ出しのルールを守ることが大切です。

自宅付近にごみ置場を提供していただいている方々への思いやりとひとり一人がマナーとルールを守って、清潔で住みよい街づくりにご協力をお願いします。



(清掃事業課)

# 燃やさないごみの中には **STOP!** 危険物がいっぱい!

家庭から出される“燃やさないごみ”の袋の中には危険な物が入っている場合があります。

例えば、中身の入っているカセット式ガスボンベ、スプレー塗料、また、本来は大型ごみの鉄アレイ、燃やすごみのカセットテープなどです。



ガスボンベ、スプレー塗料は破砕機内部で爆発を起こし、機械の弱い部分を破損することがあります。

鉄アレイなどは自動選別機の磁石に付きにくいので分別できずに焼却施設に損傷を起こすこともあります。

また、カセットテープは選別機にかけるとテープが伸びて絡まり選別能力の低下をまねくことになります。



そこで、このような事故を防止するため手作業による選別を16年度より始めたわけですが、これには経費がかかり、作業員には危険が伴うことになります。

市民の皆さんの正しい分別へのご協力をお願いします。

(クリーンセンター)

## リサイクルプラザの再生品 人気です!

展示品はホームページで、ご覧になれます。 <http://www.city.ichikawa.chiba.jp/rcplaza/index.html>


リサイクルプラザでは、引越しなどの家庭の事情で不用となった家具やベビー用品などを安価で販売しています。

他にリサイクル講座、フリーマーケットの開催、家電製品などの情報提供をしています。なお、その収益金は社会福祉事業に役立てています。

程度によりリサイクルできる家具類を無料で引き取ります。

家具類(タンス、食器棚、ベット、ソファ、テーブルなど)

ベビー用品(ベビーベット、ベビーカーなど)

 品物の種類や状態により引き取りができない場合もあります。

電話 047(335)9951

FAX 047(335)4429

開館時間:午前9時~午後5時

休館日:月曜日、国民の祝日の翌日、  
年末年始

〒272-0022

市川市鬼越2丁目18-17

JR総武線高架下

(リサイクルプラザ、市川市清掃公社)



フリーマーケット



## ~ 生ごみ処理機購入の方に補助します ~



電気式  
生ごみ処理機

生ごみ減量・資源化の対策として、市では、家庭用の電気式生ごみ処理機、コンポスト容器の購入に補助をしています。

電気式生ごみ処理機: 購入価格の3分の1(2万円上限)

コンポスト容器: 購入価格の2分の1(3千円を上限)

申請書は、市役所総合市民相談課、行徳支所総務課、リサイクル推進課(南八幡分庁舎)で受け付けています。

コンポスト容器  
(屋外型)



コンポスト容器  
(屋内型)

購入する際は、事前にリサイクル推進課へお問い合わせください。電話 334-1111

(リサイクル推進課)

## じゅんかんパートナーの活動報告

市川第二地区パートナーから「自分達の街を自分達できれいな、住みよい街にしたい」という発案があり、2月25日(金)に18名で地域のポイ捨てごみの収集や放置自転車のチェックなどの巡回を実施しました。



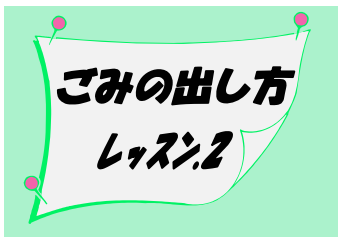
巡回風景

大洲防災公園に午前10時に集合し、大洲・市川南方面、大和田方面、平田方面の3グループに分かれて約1時間30分、自分の家の周りだけではなく、町内の様子も確認しながら巡回しました。

活動用の黄色いブルゾンで巡回していると付近の住民から「ご苦労様」「いつもありがとうございます」など感謝の言葉をかけられ、この活動も地域の住民のみなさんに理解されてきたようです。

じゅんかんパートナーとは、ごみの発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再利用(リサイクル)という、3Rの推進、不法投棄の監視などに地域の代表として、市と協働で取り組んでいるみなさんです。

(リサイクル推進課)



ビデオカセットテープ編

### ～カセットテープは燃やすごみです～



最近ではDVDの普及で家庭から不要になったビデオカセットテープが大量にごみとして出されます。

「燃やさないごみ」として出される場合がありますが、ビデオカセットテープは「燃やすごみ」の分別になりますので、市指定「燃やすごみ用」の袋に入れて出してください。皆様のご協力をお願いします。

(清掃事業課)

## マイバッグ運動推進報告書を市に提出!

消費者、事業者、市川市の代表16名で組織された「マイバッグ運動推進会」が16年度の実績と今後の活動方針をまとめた「マイバッグ運動推進報告書」を2月15日に相川恒平会長から千葉市長に手渡されました。



17年度の実施予定は、16年度から始めた参加協力店によるエコカード配布方式を継続し、モニター

の参加が少ない地区にモデル地区の設置を行い、市民のだれでも参加できる仕組み作りをしていきます。期間は17年10月1日からの6ヶ月を予定しています。

(マイバッグ運動推進検討会)

### <じゅんかんだより(編集後記)>

最近、日本各地で、そして世界で頻発している地震や異常気象は、地球の環境が少しずつ狂ってきているという話の信憑性を増すものとして余りあるものです。

温暖化防止のため、世界で約束した京都議定書が京都会議から8年目にして始めてこの2月16日に発効となり、今後、様々な取り組みが進められます。

市川市では、持続可能な循環型のまちを目指して、12分別を始め、ごみの減量・資源化に一生懸命取り組んでいます。無関心な方々をどう巻き込んでいくかが大きなテーマです。(K)



# 環境清掃部

## じゅんかんニュース

### パソコン・ 原付バイクの ごみの出し方 が変わります!



#### 対象になる パソコン



デスクトップ  
パソコン(本体)



ノートパソコン



(パソコンの)  
CRT ディスプレイ

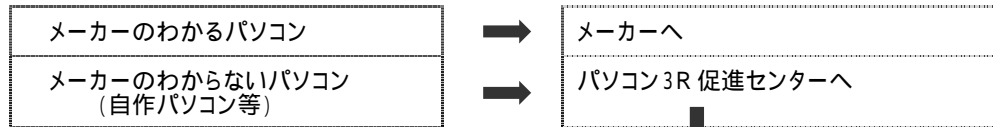


(パソコンの)  
液晶ディスプレイ

この4月から変わる2つのごみの出し方について、お知らせします。まず、1つ目は、家庭で使っているパソコンの処分についてです。

家庭で使われていたパソコンを廃棄するときは、現在市では、主に大型ごみとして収集をしていますが、メーカー等による回収・リサイクルが開始したことを受けて、平成18年4月1日からはその収集をいたしません。また、クリーンセンターへの直接の持ち込みもできなくなります。

4月1日以降にパソコンを廃棄される方は、次の区分により回収の申し込み(リサイクル料金のご負担があります)をお願いします。



パソコン3R 促進センター ☎ 03 - 5282 - 7685

受付時間:午前9時~正午/午後1時~午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

詳しくは、ホームページ <http://www.pc3r.jp/uketsuke.html> にて確認できます。

品 目	リサイクル料金(税込)	
	メーカーがわかる場合	メーカーがわからない場合
デスクトップパソコン(本体)	3,150円	4,200円
ノートブックパソコン	3,150円	4,200円
CRTディスプレイ(一体型を含む)	4,200円	5,250円
液晶ディスプレイ(一体型を含む)	3,150円	4,200円



平成15年10月以降に販売されたリサイクルマークの付いたパソコンにはリサイクル料金はかかりません。また、デスクトップパソコン(本体)とディスプレイの回収申込をする場合は、2台分の申し込みが必要になります。

#### 原付バイク 50CC 以下



2つ目は、50cc以下の原付バイクについてです。

原付バイクは、現在市で大型ごみとして収集をしていますが、オートバイの回収・リサイクルシステムが開始したことを受けて、平成18年4月1日からはその収集をいたしません。また、クリーンセンターへの直接の持ち込みもできなくなります。

4月1日以降に、50cc以下の原付バイクを含むオートバイを廃棄される方は、

「二輪車リサイクルコールセンター」へお問い合わせをお願いします。



二輪車リサイクルコールセンター ☎ 03 - 3598 - 8075

受付時間:午前9時30分~午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

詳しくは、ホームページ <http://www.jarc.or.jp/motorcycle/> にて確認できます。



資源化



～市川市じゅんかん白書から～

# 資源物とリサイクル費用

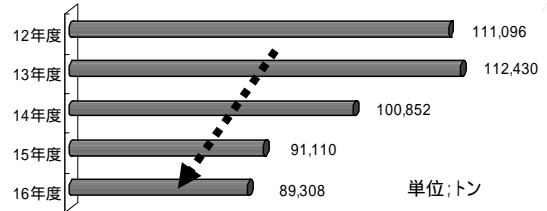


ごみを処理したり、資源物をリサイクルするためにはお金がかかります。

平成16年度にごみや資源物を集めて処理するために65億4,483万円の費用がかかりました。

## ●燃やすごみの量

ごみ集積所に出された燃やすごみの量は、12分別を始める前の平成13年度の112,430トンから20.6%減って89,308トンになりました。



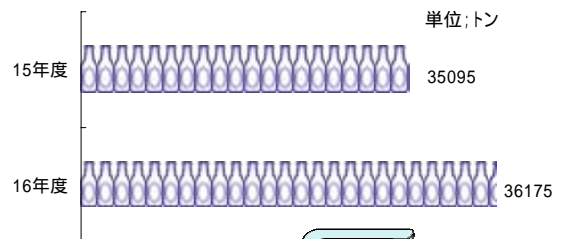
## ●ごみの収集処理費用

燃やすごみ、燃やさないごみ、大型ごみなどは集めた後に、焼却または破砕してから市外にある民間処分場に埋め立えています。平成16年度に市民一人あたりにかかったごみの収集処理費は15年度から355円減り14,079円でした。一世帯あたりでは31,623円かかったこととなります。



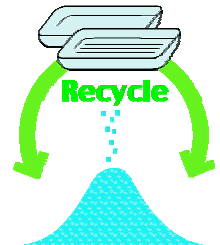
## ●増えた資源物の収集量

資源物の量(集団資源回収を含む)は、15年度の35,095トンから1,080トン増えて36,175トンになり、資源化率も0.8ポイント上昇して20.7%になりました。



## ●資源物をリサイクルするためには費用がかかります

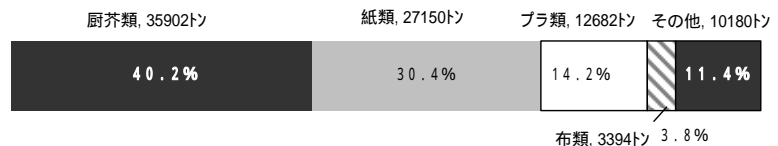
資源物をリサイクルするためには、ごみとして処分するよりも費用がかかります。しかし、“なるべく燃やさない”“なるべく埋めない”で資源物を有効に利用して、環境への影響を少なくする必要があります。16年度にかかった費用は16億7,357万円で、市民一人あたりでは3,600円でした。



## ●もっと資源化を進めましょう

集積所に出された燃やすごみの成分を調べると、生ごみが40.2%、紙類が30.4%、プラスチック類が14.2%などとなっています。

12分別を徹底して、リサイクルできる紙類(特に資源化率の低い紙パック)やプラスチック容器包装類の資源化を進めましょう。ハガキ大の紙片は不用となった封筒などに入れ、雑誌などと一緒に縛って出してください。



資源が循環する、環境にやさしい都市をめざす市川の様々な取り組みと年次報告を掲載した「市川市じゅんかん白書」は市政情報センター、中央図書館、行徳図書館、大野公民館図書室、男女共同参画センター(ウイズ)情報資料室で閲覧できます。

また、市のホームページにも掲載しています。

<http://www.city.ichikawa.chiba.jp/net/seisobu/>

(リサイクル推進課)



じゅんかん白書

# ごみ出しマナーとルール

ご家庭の  
皆さんへ



ごみ置き場が汚れる原因は？

- ・寒い冬は朝のごみ出しが辛い...ついつい前日の夜にごみを出してしまう。
- ・面倒くさい...分別をしないでごみを出してしまう。
- ・収集時間後にごみを出してしまう。
- ・指定袋を使用していない。

**清潔で住みよい街づくりにご協力ください!**

など、ルール違反のため出されたごみが放置され、散乱や悪臭の原因となり、また、カラスなどの格好のえさとなってしまいます。これらを防ぐには、皆さん一人ひとりが収集や分別などのマナーとルールをきちんと守ることが不可欠です!

(清掃事業課)

ごみ置き場に、お店のごみが出されて困ってます...

飲食店、事務所、店舗などの事業所から出るごみ(書類、ダンボール、残飯、茶殻など)は量に係わらず、家庭用のごみ置き場に出すことはできません。事業者自らの責任で処理することになっています。

現在、市では不適正処理事業所に対し、チラシの配布、戸別訪問などにより適正な処理への移行を指導しています。ご近所で事業所からのごみの排出が見受けられる場合は、ご連絡ください。

(廃棄物対策課)

事業者の  
皆さんへ



引越しをする方へ

～ 引越しごみは、ごみ集積所には出せません ～

ごみの収集は、なるべく早く、スムーズにできるようにコースを決めて行っています。

これから転勤などにより、引越しをする方が多くなります。一時的・多量な引越しごみを集積所に出されてしまうと、収集に時間がかかるほか、交通の妨げとなることもあります。

そのため、引越しごみは、ご自身で処理していただいています。

処理方法: 自分でクリーンセンターへ運ぶ

・持ち込める日および時間

月～土曜日(日曜・祝日を除く)

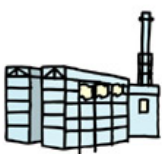
午後1時～4時

・処理手数料 10kgにつき 189円(消費税相当額を含む)

クリーンセンターで処理することができないものもあります。事前に確認してください。

所在地: 市川市田尻 1003 番地

☎ 328-2326



市でごみの収集を許可した業者に頼む(有料になります)



引越しごみを収集運搬することができる許可業者は、「ごみ分別ガイドブック」、「資源物とごみの分け方・出し方」(チラシ)または市のホームページをご覧ください。

テレビ(ブラウン管式)、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機、エアコンの処分は購入した店または家電受付センター(320-5533)へ申し込んでください。

再利用が可能な家具やベットなどは、リサイクルプラザ(335-9951)が無料で引き取ります。

ただし、下見の結果、再利用ができないものは、引き取りができませんので、ご了承ください。

引っ越し



(リサイクル推進課)

# じゅんかんパートナーの活動報告

## いちかわ市民まつりに参加!

平成17年11月5日(土)開催の「いちかわ市民まつり」にじゅんかんパートナーの皆さんが参加しました。

今回は、「プラスチック分別ゲーム」と題して、八幡、菅野・須和田地区のパートナーの皆さんが企画をした分別ゲームを通じて、市民の皆さんに「資源物とごみの分け方出し方」について理解を深めていただこうと啓発活動を実施しました。



プラスチック分別ゲーム



### (じゅんかんパートナーの声)

- ・まだまだプラスチック製容器包装類の分別に戸惑いを感じている方が多いのに驚きました。
- ・同じ市民として一緒に考えて分別を理解してもらうことで、「めんどくさい・分別は大変」との思いが少しは無くなってもらえたと思う。

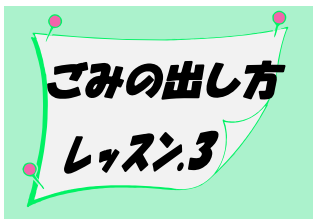
### (参加者の声)

- ・気軽に分別ゲームに参加して分別が理解できたことは良かった。
- ・じゅんかんパートナーの方の説明がとても分かりやすかった。
- ・親子でゲームに参加して一緒に理解できたことは良かった。

(リサイクル推進課)

## ご存知ですか?プラスチック容器包装類


トレー・ボトル・チューブ編



小売店やスーパーに並ぶ、お惣菜・調味料・歯磨き粉などの多くの商品は、プラスチック製の「トレー」・「ボトル」・「チューブ」等の容器に入れて販売されています。

これらプラスチック製の「トレー」「ボトル」「チューブ」などの容器または、商品を包んでいたラップなどの包装類は、プラスチック製容器包装類と呼ばれ、市川市では週に1回、ペットボトルと一緒に資源物として収集を行っています。



目安としては、プラマーク「」の標記がされています。

ただし、製品そのものでお使いになる「プラスチック製まな板」、「プラスチック製植木鉢」、「ビデオテープ」、「ケース類」等のプラスチック商品は燃やすごみになります。また、「衣装ケース」、「灯油のポリタンク」などの大型なものは、大型ごみ(事前予約制 378-5310・有料)になりますのでご注意ください。

市川市はごみの減量を目指して、プラスチック製容器包装類の資源化を行っています。これからも、皆さんのご協力をお願いいたします。

(清掃事業課)

### <じゅんかんだより(編集後記)>

昨年はアスベスト問題がクローズアップされ、市民や各自治体が大あわて。市も公共施設のアスベスト材使用実態調査とその対策に取り組む。市民生活対策としては、電化製品などで高熱を出す部分にアスベスト材が使われているため、不用となった場合の回収は安全性を第一に考え、近隣市に先駆けて17年10月より専用車両で別収集を始める。市民生活の安全と安心を第一に、今後も「資源循環型都市いちかわ」の推進に取り組んでいきます。(T)







環境清掃部

じゅんかんニュース

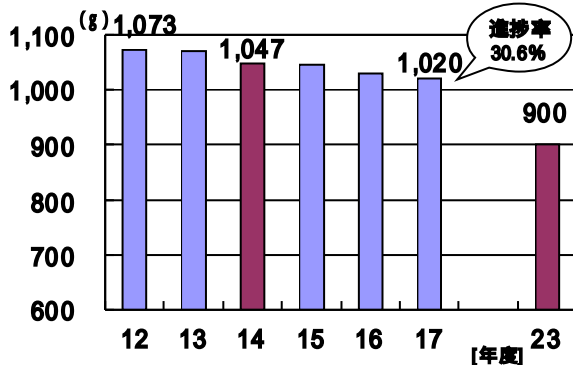
『資源じゅんかん型都市いちかわ』をめざして

平成14年3月に策定した「いちかわじゅんかんプラン21」では、平成12年度を基準年として、平成23年度を目標に、ごみについて4つの数値目標を設定しました。各目標の進捗状況は次のとおりです。

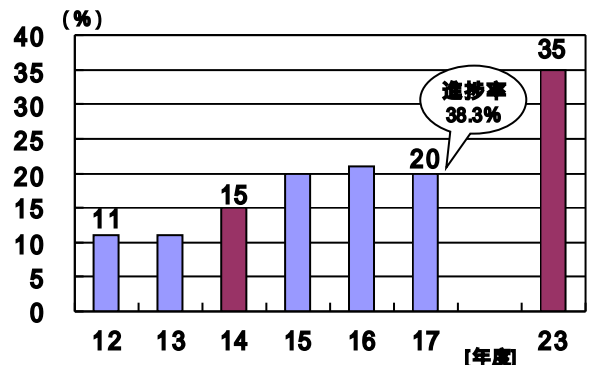
4つの数値目標

いずれの数値も、平成14年10月の12分別開始により進捗が見られますが、現状では目標を達成することが難しい状況です。目標達成のためには、今まで以上に皆さんの協力が必要です。

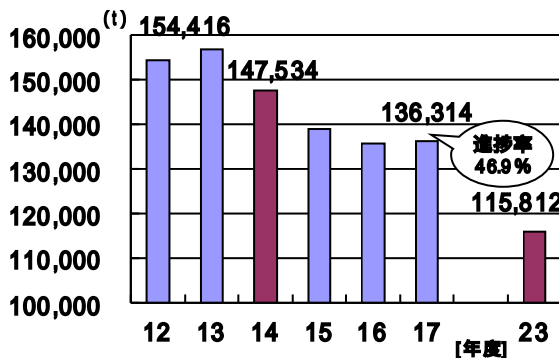
一人一日あたりの排出量:目標 900 グラム



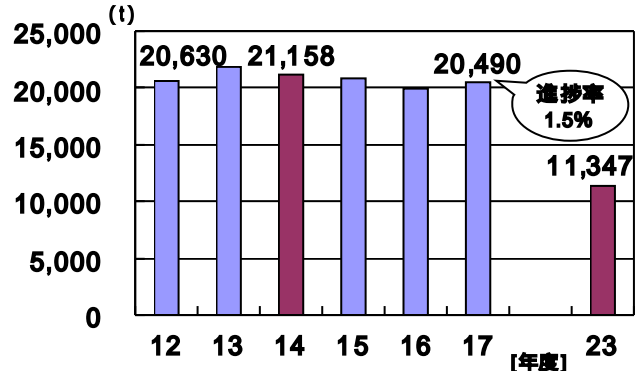
資源化率の向上:目標 35%以上



焼却量の削減:目標 12年度比 25%以上



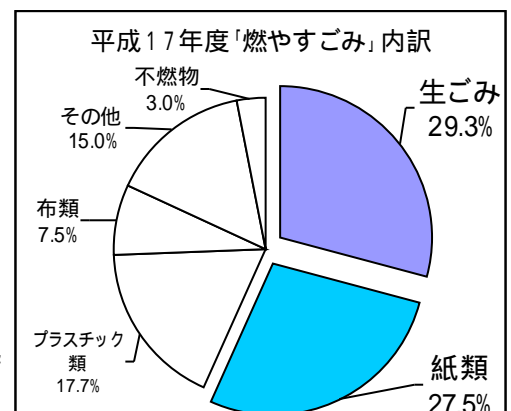
最終処分量の削減:目標 12年度比 45%以上



生ごみ、紙類の減量・資源化を!

市川市にはごみを埋める最終処分場がなく、市外の民間処分場に費用を支払い(17年度は約5億7千万円)埋め立てを行っています。埋め立ての費用を少しでも抑えるためには、皆さん一人ひとりがごみの減量や資源化に取り組む必要があります。

具体的にご家庭でできることとして、燃やすごみの約30%を占める紙ごみを資源として出したり、生ごみは水切りして減量したり、生ごみ処理機(補助金制度有)を活用して、生ごみを堆肥にするなどがあります。



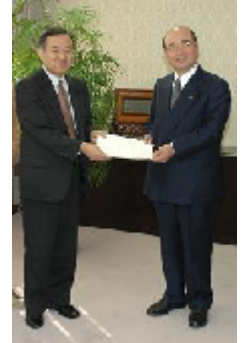
# 市の清掃ホームページをリニューアル!! じゅんかんプロジェクト6

市民生活に直接かかわるごみ問題を市民と行政が一緒になって考える「じゅんかんプロジェクト」は、毎年テーマを決めて検討し、18年度で6期目を迎えました。今期は、10代の学生から70代まで10名の方が参加し、「市民の目線で“使いやすい”“わかりやすい”ホームページづくり」をテーマに市の清掃ホームページのリニューアルに取り組みました。

リニューアル後の清掃ホームページは、3月中～下旬にアップする予定です。  
是非、ご覧ください。

【主なリニューアル内容】

- ホームページ全体のレイアウトを一新
- 資源物とごみの分け方・出し方をよりわかりやすくイラストで解説
- こどものページ、ごみの出し方Q&A、分別クイズ、ごみ収集日カレンダーの作成  
(資源じゅんかん政策課)



市長報告の様子

## マイバッグ運動実施中!～レジ袋を断り、ごみを減らしましょう～

地球環境の保全と「ごみになるものはもらわない」「もったいない」を実行するためにマイバッグを持参しレジ袋を断る「マイバッグ運動」を今年度も実施しています。平成16年度から市内全域で行い、年々参加店が増え市内約600店が参加しています。

昨年度は520,000枚(約4トン)のレジ袋を削減し25.5トンのCO2の発生を抑えることができました。今年度は昨年10月1日から実施し、1月末までに約420,000枚のレジ袋が削減されています。レジ袋を断るともらえるエコポイントは、「指定ごみ袋」と交換できます。また、今回から動植物園や東山魁夷記念館などで直接使えたり、1%支援制度に寄付ができたりする「地域ポイント」への交換もできるようになりました。

3月31日まで実施していますので、皆さんもこの運動に参加し、より一層のレジ袋の減量に取り組みましょう。  
(マイバッグ運動推進会・資源じゅんかん政策課)

【レジ袋削減枚数】

13年度	17,660枚
14年度	43,160枚
15年度	78,860枚
16年度	173,300枚
17年度	520,000枚



## 「じゅんかんパートナー活動報告」

18年度は350名体制を目指し、市内14地区のそれぞれ地域で活動し、3回の連絡会と、市長と懇談したリーダー会議を1回実施しています。



活動用ベスト

じゅんかんパートナー活動内容

- ・ごみ置場のチェック、不法投棄の監視
- ・地域での分別指導
- ・家庭でのごみ発生抑制の実践
- ・ごみに関する知識の習得

第2回連絡会で行われた外部講師によるペーパーリサイクル講習会を機に、紙の分別に対する意識が高まり、平成18年11月4日(土)開催の市民まつりでは、じゅんかんパートナー(八幡、菅野、須和田地区)の企画・運営による「紙分別ゲームコーナー」を出店しました。当日は、燃やすごみに多く含まれている「紙ごみ」についてのゲームに市民の皆さんが参加し、市川市の「資源物とごみの分け方・出し方」について理解を深めていました。



市民まつりの様子



(資源じゅんかん政策課)

# ごみ出しマナーとルール

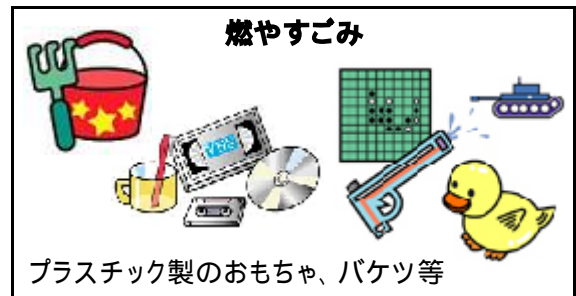
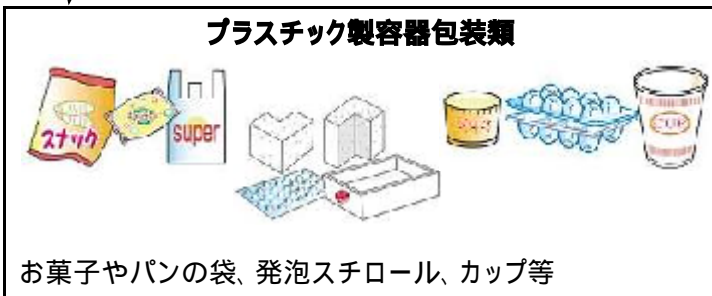
## プラスチック製品はプラスチック製容器包装類ではありません！！

プラスチック製容器包装類は、商品を包んでいる**容器**や**包装類**が対象です。  
対象となるものにはプラマークがついていますので、参考にしてください。



プラマーク

**注意!!** プラスチック製のおもちゃや洗面器などは**燃やすごみ**で出します。



詳しい分別方法はごみ分別ガイドブックを参照してください。(清掃事業課)

## ごみ置場の管理は利用している皆さんで

市内には約18,000箇所のごみ置場がありますが、それぞれのごみ置場の管理は利用者の皆さんです。  
ごみを前日から出すと、カラスや猫に荒らされたり、風で飛ばされるなどでごみ置場が汚れます。  
利用する皆さんで協力し合って、きれいなごみ置場を保ちましょう。

カラスや猫にごみを荒らされて困っているごみ置場には、金網式ごみ箱やネットの貸し出しをしています。お問合せは清掃事業課へ 320-3973  
カラス対策として黄色いカラスネットを貸し出し、その効果などの調査を行っています。  
モニター(数回のアンケート有)として参加いただける方は、資源じゅんかん政策課までご連絡ください。 320-3971(先着100名まで)



**ごみの出し方**  
**レッスン4**

### 「紙類・布類」と「ビン・カン」は別々に収集しています！

「紙類・布類」と「ビン・カン」は同じ曜日にごみ置場に出しますが、収集は別々の車が行っています。そのため、「紙類・布類」と「ビン・カン」はそれぞれ収集時間が異なりますので、注意してください。

新聞紙や布類が残っているので、収集が終わっていないと思い、ビン・カンを出してしまう方がいるようです。

「紙類・布類」「ビン・カン」ともに、収集日の午前8時までに出してください。

(清掃事業課)

### ご存知ですか？

大型ごみの収集は専用電話による申し込み制です。(有料)

大型ごみの収集依頼、お問い合わせは下記の電話番号へ。

**大型ごみ専用電話番号 378-5310**

## クリーンセンター余熱利用施設が平成19年9月にオープン予定

クリーンセンターのごみ焼却施設から発生する熱で発電する電気と温水を利用する余熱利用施設(プール、温浴施設、スポーツジム)が平成19年9月にオープンします。

建設用地内の廃棄物撤去作業により建設が遅延していましたが、昨年の10月から施設本体の工事を再開しました。

現在は、施設棟鉄骨部の組立が完了し、これからプール棟鉄骨部の組立を行います。

この事業は、PFI方式により進めています。



<写真手前部分がプール棟、その奥が施設棟>

## 平成18年度じゅんかん白書ができました

12 分別の成果、ごみの収集量、減量・資源化事業など、市の廃棄物に関するさまざまな取り組みを紹介しています。

市政情報センター、中央図書館、行徳図書館、大野公民館図書室、男女共同参画センター情報資料室で閲覧できます。

また、市のホームページにも掲載しています。

<http://www.city.ichikawa.chiba.jp/net/seisobu/title6/rsgmdata/h18rsjh/rsjh18.htm>



## 生ごみ処理機補助金制度を利用してごみの減量!!

電気式生ごみ処理機の購入者には、生ごみ処理機の本体価格の3分の1で、2万円を限度として購入費の補助を行っています。

申請に必要な書類は 補助金交付申請書、領収書の写し(レシートは不可)、生ごみ処理機の保証書の写しです。市役所総合市民相談課、行徳支所総務課、分庁舎A棟資源じゅんかん政策課で受け付けを行っていますので、ご利用ください。

詳しくは市役所総合市民相談課、行徳支所総務課、資源じゅんかん政策課、リサイクルプラザで配布しているパンフレット、または市のホームページをご覧ください。資源じゅんかん政策課までお問い合わせください。 320-3971



(資源じゅんかん政策課)

### <じゅんかんだより(編集後記)>

今年は記録的な暖冬です。スキー場は雪不足、冬のイベントも中止や変更が相次ぎ、世界各地が異常気象に見舞われています。地球温暖化が主原因といわれ、国際的な取り組みが展開されています。今、私たちにできることは地球環境に配慮した生活です。水や電気、ガスなどの省エネをはじめ、リデュース(発生抑制)・リユース(再利用)・リサイクル(再生利用)の3Rは、誰にでも簡単にできる温暖化対策です。日々の生活のなかで実践し、かけがえのない地球を守りましょう。(T)



### じゅんかんパートナーを紹介します！！



「じゅんかんパートナー」は、環境にやさしい「資源じゅんかん型都市いちかわ」の実現を目指し、市と協力してごみ問題を考える、市民と市のパイプ役です。ごみの減量や3Rを進めるために、地域でのごみの分別やPR活動を中心に取り組んでいます！

7月1日には市民会館で、じゅんかんパートナー委嘱式を行いました。今期のじゅんかんパートナーは、350人を目標に279人体制でスタートします。

ごみの問題に関心がある方！じゅんかんパートナーとして、活動しませんか？



委嘱状交付式の様子

### じゅんかんパートナーにインタビュー

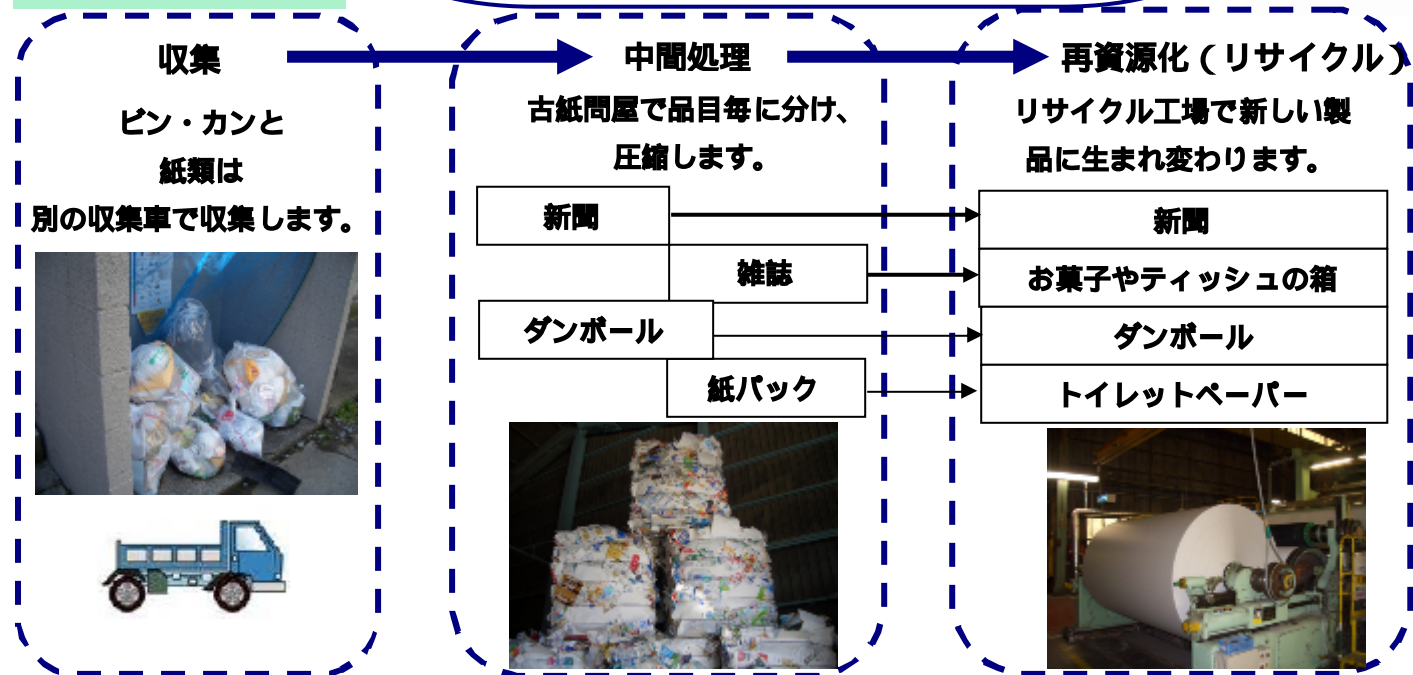
私たちじゅんかんパートナーは、地域みなさんにごみ問題に気づいてもらえるよう、色々なイベントに参加しています。また、ごみの分別方法や生ごみを減らすアイデアを広めたり、ごみ集積所の見回りなどもしています。これからも地域でごみ問題を共有できる環境を作っていきたいので、皆さんも、ごみの分別や生ごみの水切りなど、日々できることから取り組んでください！



高橋 ひろ子さん  
お問い合わせ 循環型社会推進担当 320-3971

### ごみの出し方 レッスン5

市川市内で出される紙は1年間で15,013トン(平成19年度)。今回は、この紙類がどんな風に再資源化(リサイクル)しているのか見てみましょう！



**編集後記**  
このじゅんかんニュースは、毎日出されるごみや資源の現状や処理の状況、市民の方々の活動の様子など、ごみに関する様々な情報を、自治会回覧や、駅や公共施設などにある広報スタンドなどにより、市民や事業者の方々にお届けしているもので、今回第10号となりました。  
今、地球温暖化対策が強く求められています。これに大きく貢献するごみの減量や再利用などの3Rの取り組み、循環型の都市づくりへの取り組みなどの最新情報を今後もできるだけ早くお届けしたいと思います。(K)



# じゅんかんニュース <第10号>

発行日：平成20年7月16日 発行：市川市 環境清掃部 循環型社会推進担当  
電話：320-3971 ホームページ：http://www.city.ichikawa.lg.jp

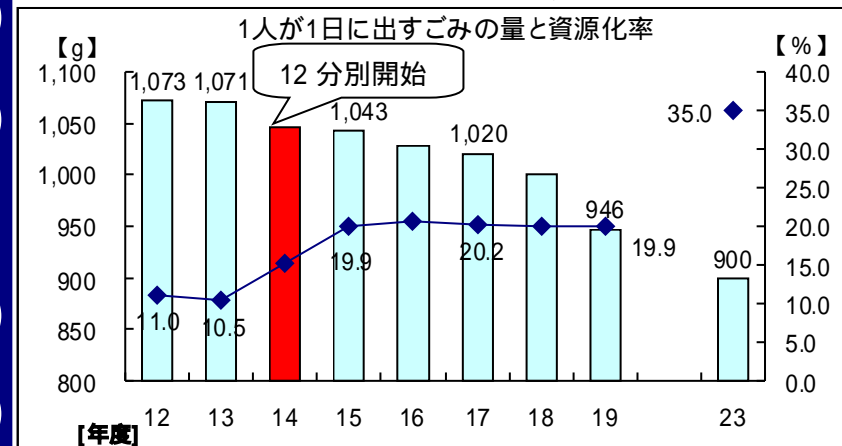
### 第10号の内容

- ・12分別収集でごみは減った? ……1面
- ・じゅんかんパートナーを紹介します! ……4面
- ・ごみの出し方 レッスン5 紙リサイクルの流れ ……4面
- ・市川市 3R取り組みマップ ……2,3面
- ・クリーンセンターと天然温泉の意外なつながり!? 3Rに取り組むお店紹介!(西友 新浜店) マイバッグ運動でレジ袋は何枚減った? ほか

### 12分別でごみは減った? 増えた?



1人が1日に出すごみの量 **125g減** (平成13年度1,071g 平成19年度946g)  
資源化率 **9.4%アップ** (平成13年度10.5% 平成19年度19.9%)  
平成14年10月から実施している、12分別の成果は少しずつ出ています。しかし市川市には、もっともごみを減らし、資源化率を上げなければならない現実が!



### 市川市の現実って?

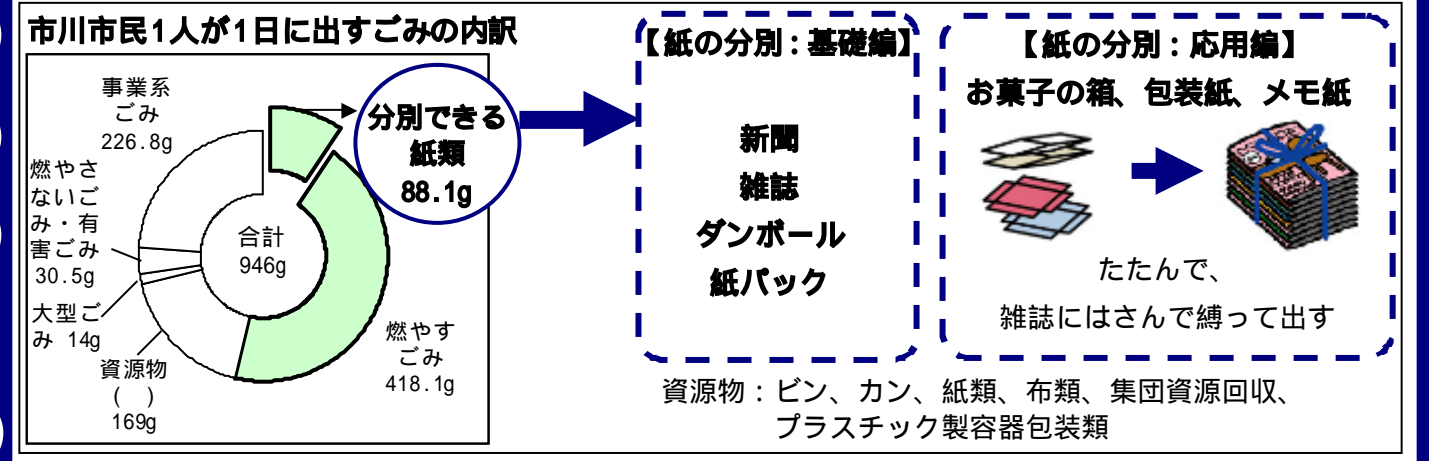
市川市には、最終処分場がなく、県内外の民間最終処分場にお金を払って埋め立ててもらっている。私たちはもっともごみを出さないようにしなければなりません。  
平成18年度埋め立て料 約5億6千万円



### たかが紙、されど紙!?



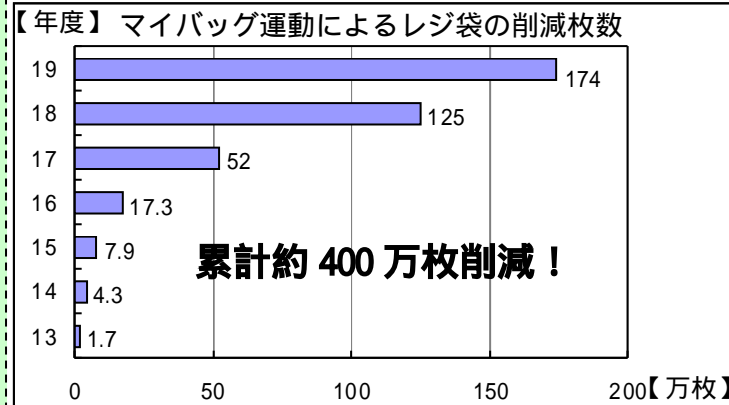
みなさん1人1人が1日に出すごみ946gの中には、「紙類」として分別・資源化できるものが88.1g(17.4%)も混ざっています。これは、1人1年間で約32kg(A4版のノート約190冊分!)、市川市全体で年間約15トン!みなさんも、今日から、紙類の分別を見直してみましょう。  
紙の分別の基本は、新聞、雑誌、ダンボール、紙パック。まずはこの分別にコツコツ取り組みましょう。そして、もっとごみの減量に協力したい!そんなアナタは、応用編にステップアップ!



# 市川市 3R 取り組みマップ

## 市内全域 マイバッグ運動で、レジ袋は何枚減った??

みなさんが買い物をしたときにお店でもらうレジ袋、家にたまっていませんか?そのまま捨てていませんか?市川市では、平成13年度から平成19年度までのマイ



バッグ運動で、約400万枚のレジ袋削減に成功!全国各地で広まっているマイバッグ運動。みなさんも、買い物にはマイバッグを持っていき、地球にやさしいエコ生活を始めましょう!

お問い合わせ 循環型社会推進担当 320-3971

## ① 電動式生ごみ処理機の補助金の申請は市内3カ所で!

- |   |  |
|---|--|
| 補助金額<br>消費税を除く購入価格の3分の1<br>(上限2万円)                              | 申請窓口<br>・市役所本庁舎総合市民相談課(1階)<br>・循環型社会推進担当(南八幡分庁舎)<br>・行徳支所総務課(2階) |
| 申請に必要なもの<br>補助金交付申請書、領収書の写し<br>(世帯主名フルネームで。レシート不可)<br>保証書の写し、印鑑 |  |
- お問い合わせ 循環型社会推進担当 320-3971



## ② 3Rに取り組むお店紹介!

~西友 新浜店~



西友新浜店では、3Rを進めるために様々な取り組みをしています。例えば、野菜や魚などのバラ売りをして、トレーなどの容器をなるべく使わないようにしたり、店頭ではトレーやペットボトルを回収。(ペットボトル回収量:この半年で3万本以上!)また、レジ袋削減にも取り組んでいて、約3割の方がマイバッグ持参。

「今年はマイバッグ持参率5割が目標!私もハチドリマイバッグやマイ箸で毎日3Rに取り組んでいます!」と、店長の木嶋さん。

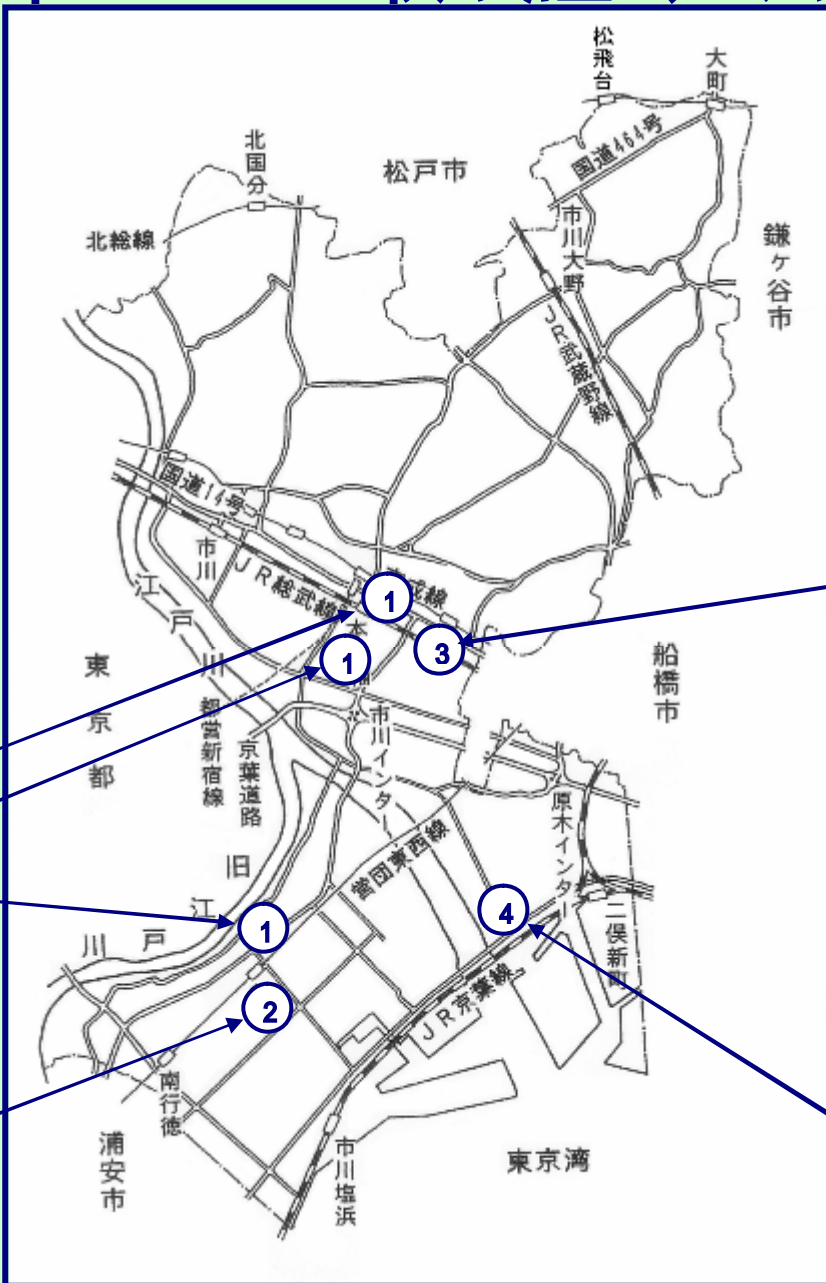
みなさんも、ご近所で3Rに取り組むお店を積極的に利用して、日々のお買い物でエコしませんか?

お問い合わせ  
循環型社会推進担当 320-3971

3Rに取り組むお店募集中!



お店の入口にある回収ボックス



## 市内全域 ごみ集積所の管理にご協力を!

ごみ集積所は地域の利用者のみなさんで管理するのが原則です。ごみ集積所が、猫やカラスによって荒らされてお困りの方は、カラスよけネットなどを貸し出していますので、清掃事業課までお問い合わせ下さい。

### カラスネットの上手な使い方

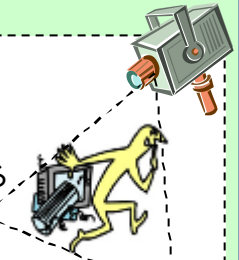
- ・必ずごみのはみ出さないように、かぶせる。
- ・ネットの周りに重石などを置き、簡単にズレないようにする。
- ・ごみ収集後は通行の妨げにならないよう、すぐに片付け、日ごろからごみ集積所をきれいに保ちましょう。

お問い合わせ 清掃事業課 320-3973

## 市内全域 市川市から不法投棄をなくそう!!

「不法投棄」は、私たちの環境を悪くするだけでなく、法律で、ごみを捨てた人が罰せられたり、高額な罰金の対象となる**重大な犯罪**です。市では不法投棄の禁止看板、監視カメラの設置やパトロールなどにより防止を図っていますが、不法投棄はなくなりません。不法投棄された廃棄物は新たな不法投棄を誘発します。不法投棄を発見したら、すぐに警察署又は廃棄物対策担当までご連絡を!また、みなさんご自分の土地(特に空地等)に不法投棄されないよう管理して下さい。みんなで不法投棄のない美しい街にしましょう!

お問い合わせ 廃棄物対策担当 320-3972



## ③ 線路の下でフリーマーケット!

みなさんは市川市リサイクルプラザがどこにあるかご存知ですか?コルトンプラザ前のJR総武線の高架下にあります。

リサイクルプラザでは月に数回フリーマーケットを開催しています。毎回行列ができるほどの人気イベントに、みなさんも参加してみませんか?お宝が見つかるかも!?



フリーマーケットの様子

### 【8月のイベント情報】

8月3日(日)リサイクル講座、8月17日(日)フリーマーケット  
申し込み方法等詳しくはリサイクルプラザまでお問い合わせください。  
お問い合わせ リサイクルプラザ 335-9951(月曜休館)

## ④ クリーンセンターと天然温泉の意外なつながり!?

クリーンセンターは、市川市のごみ処理施設であると同時に、ごみを燃やす時に出る熱を有効利用する、「発電施設」でもあるんです!

熱は、クリーンセンター内での利用や、東京電力への売電(平成18年度:約2億7千万円)の他、昨年オープンした日帰り天然温泉施設「クリーンスパ市川」(早くも累計入場者数15万人突破!)でも利用しています。

クリーンセンター見学後に、天然温泉へ!こんな夏休みもいいですね!

お問い合わせ クリーンセンター 328-2326



クリーンセンター



クリーンスパ市川

電気・高温水を送る